市民が主役の市民のためのまちづくり戦略 工程表

（まちづくり戦略 工程表）

宮　　崎　　市

平成２５年５月改訂

～市民が主役の市民のためのまちづくり戦略 工程表について～

本市では「市民が主役の市民のためのまちづくり」を理念の下、３つの「都市経営の基本方針」（株式会社宮崎市役所づくり、きずな社会づくり、元気な宮崎づくり）により、５つの「基本施策」（市民による地域コミュニティの形成、市民の安全・安心、市民の所得向上、市民のための自然環境保全、市民のための市役所改革）を重点的に推進しています。

・この工程表は、「市民が主役の市民のためのまちづくり戦略」の実施計画を明らかにするものです。
・５つの「基本施策」を推進するため、１８項目の「個別施策」を掲げ、個別施策ごとに、今後の展開方向や、計画期間である４年間（Ｈ２２～Ｈ２５）の具体的な取組内容等を記載しています。
・この工程表は、「宮崎市戦略推進会議」において進行管理を行い、毎年度進捗状況を公表します。
・この工程表は、平成２５年５月に改訂したものであり、今後も社会経済情勢の変化などを踏まえて、取組内容などを追加するほか見直すことがあります。
・工程表にある進捗状況欄の評価基準は次のとおりです。
　Ａ：達成できたもの、順調に進んでいるもの
　Ｂ：やや遅れて進んでいるもの
　Ｃ：かなり遅れているもの、又は進んでいないもの

４０万人スクラムプロジェクト

平成２４年度からスタートした「４０万人スクラムプロジェクト」は、後期基本計画において、都市経営の基本方針に基づき、「市民が主役の市民のためのまちづくり戦略」を効果的に推進するため、「４０万人スクラムプロジェクト」として、選択と集中の観点から「地域力の向上」「６次産業化の充実強化」「滞在型観光の推進」の３点についての取り組みを加え、スピード感を持ち優

「地域力の向上」　～描こう！　２１のユニークなまちの顔～

１－１－１　地域コミュニティ再生の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

１－１－３　災害から地域を守る体制づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

「６次産業化の充実強化」　～売り出そう！　超いっぴんみやざきどれ～

３－２－13　乳幼児から始まる「みやざきっ子」食育推進事業　・・・・・・・・・・　３７

３－２－14　６次産業化の充実強化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８

「滞在型観光の推進」　～盛り上げよう！　スポーツのメッカみやざき～

３－３－６　ガーデンシティ・みやざき花回遊エリア（スポット）づくり　・・・・　４３

３－３－７　古事記編纂１３００年記念事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４

３－３－８　スポーツと医療・健康を融合させた新たな魅力づくり　・・・・・・・・　４５

「都市経営の基本方針」

次の２つの視点を持って戦略的に各種施策を展開する。

まず、１点目は、市民、事業者及び行政がまちづくりの主体として、また、パートナーとして信頼関係を構築し、４０万人が一丸となって地域課題の解決に取り組むという視点です。

２点目は、厳しい財政状況の中、真に必要な行政サービスを提供するために、限られた経営資源を「選択と集中」の観点から重点的に投資するとともに、地域資源を有効に活用することにより、地域の活力を引き出し、市民の所得を向上させることで、自治体として自律性を高めていくという視点です。

目　次

基本施策１　市民による地域コミュニティの形成

個別施策１－１　対面型の地域コミュニティづくり・地域の魅力の再発見・・・・・・・・　１
個別施策１－２　地域と学校の連携による感性豊かな「みやざきっ子」の育成・・・・・・　４

基本施策２　市民の安全・安心

個別施策２－１　子育て支援の充実（保育・医療）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
個別施策２－２　市民の健康づくり（疾病予防・生涯スポーツ・医療体制）・・・・・・・　１２
個別施策２－３　生涯現役のための高齢者の交流の場と生きがいづくり・・・・・・・・・　１６
個別施策２－４　障害者の自立支援と社会参加の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
個別施策２－５　消防体制の充実と災害に強いまちづくり（消防団・自主防災組織）・・・　２０

基本施策３　市民の所得向上

個別施策３－１　雇用確保に向けた企業誘致の推進と工業の振興・・・・・・・・・・・・　２３
個別施策３－２　農林水産業の経営安定と所得向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８
個別施策３－３　滞在型観光の構築と観光資源の再発見・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
個別施策３－４　魅力ある商店街の振興と中心市街地のにぎわい創出・・・・・・・・・・　４６
個別施策３－５　新市の均衡ある発展と一体感の確立・・・・・・・・・・・・・・・・・　※

基本施策４　市民のための自然環境保全

個別施策４－１　自然を生かした環境にやさしいまちづくり（宮崎エコタウン）・・・・・　４９
個別施策４－２　安全・安心で、安定した水資源の確保と家庭排水対策の推進・・・・・・　５３

基本施策５　市民のための市役所改革

個別施策５－１　市民目線の信頼される市役所づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５
個別施策５－２　市民の視点に立った透明性の高い行政経営・・・・・・・・・・・・・・　５７
個別施策５－３　女性の視点を取り込んだ市政運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６０
個別施策５－４　地域主権を見据えた分権型まちづくりの推進・・・・・・・・・・・・・　６１

※については、新市建設計画実施計画及び新市基本計画実施計画において、各事業の進捗管理を行います。

１ 市民による地域コミュニティの形成

１－１ 対面型の地域コミュニティづくり・地域の魅力の再発見

所管部課 ： 地域コミュニティ課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	**地域コミュニティ再生の推進**（顔の見えるまちづくり） 地域の課題解決のための活動を支援し、地域コミュニティの再生を進めます。また、小学校区単位に視点をおいた地域活動を支援します。 なお、地域活動の財源は、地域コミュニティ税を廃止し、行財政改革により財源を捻出し、交付金として地域へ交付します。 地域の将来像を明確にするための計画「地域魅力発信プラン」が地域自治区ごとに策定されるよう支援を行います。	議会へ廃止条例案を提案します。【完了】					→ 提案				A	22年12月議会で地域コミュニティ税廃止条例が可決されましたので、23年度は一般財源で、引き続きまちづくりを推進しました。 なお、23年度の新規事業として小中学校区単位のまちづくり推進事業を立ち上げ、地域まちづくり推進委員会に対する事務局運営支援を行いました。 また、地域と小中学校が連携して行う事業を進めておりますほか、24年度から、各地域自治区において、まちづくりの計画となる「地域魅力発信プラン」の策定が始まっています。 ※「地域活動に係る事業数」については、今後、活動を進めていく中で、地域の規模や独自性の発揮により、各地区15事業ほどに終着することが適当と考え、目標を設定しています。
		一般財源から交付金を交付します。						→ 一般財源からコミュニティ活動を支援				
		地域の課題解決のための活動を支援します。					→ 地域の課題解決のための活動支援					
		地域のまちづくり計画策定が進むよう支援します。						→ 地域魅力発信プラン策定に対する支援				
		成果・活動量	地域活動に係る事業数	目標値	―		260	312	400	425		
				実績値		255	328	380	413			
			地域活動に参加した運営役員数	目標値	―		1,800	1,900	2,000	2,100		
				実績値		1,624	1,819	2,057	2,140			
			地域活動への参加者数	目標値	―		107,500	110,000	112,500	115,000		
				実績値		105,425	93,135	130,786	133,000			
			「地域魅力発信プラン」策定地区数	目標値	―		―	―	1	19		
				実績値		―	―	―	1			

１－１　対面型の地域コミュニティづくり・地域の魅力の再発見

所管部課　：　地域コミュニティ課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	**男女共同参画の視点を生かした地域づくりの推進** 地域まちづくり推進委員会の女性参加率を向上させることで、女性の視点を生かした地域コミュニティづくりにつなげます。 また、男女共同参画に関する拠点づくりに向けた検討を行います。	人材育成講座を実施します。				→ 人材育成講座の実施				B	まちづくりに関わる人材の育成講座に加え、地域における研修への講師派遣や啓発パンフレットの配付を行いました。 また、男女双方の生き方を支援するため、専門家による相談業務を開始しました。 男女共同参画に関する拠点づくりについては、設置に向けたより具体的な検討を行いました。 地域まちづくり推進委員会への女性参加については、人材育成講座や地域研修への講師派遣を行い、地域において女性の視点や能力を十分に反映することができるよう、女性の参画の促進を図っていきます。
		地域研修へ講師を派遣します。				→ 講師派遣の実施					
		男女共同参画に関する拠点づくりに向けた検討を行います。				→ 拠点づくりの検討					
		相談機能設置に取り組みます。						→ 相談事業実施・充実検討			
		成果・活動量	地域まちづくり推進委員会への女性参加率（%）	目標値	―	31	34	36	40		
				実績値	29	30	32	30			
			人材育成講座の実施回数	目標値	―	1	1	1	5		
				実績値	0	2	3	4			
			地域研修への講師派遣回数	目標値	―	―	8	8	8		
				実績値	―	―	4	4			
				目標値							
				実績値							

１－１　対面型の地域コミュニティづくり・地域の魅力の再発見

所管部課　：　危機管理課・警防課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	災害から地域を守る体制づくり 地域住民が自主的・自発的に防災活動が行えるよう、自治会や自主防災組織による避難経路や一時避難場所の整備を支援し、地域防災力の向上を図ります。 また、自主防災隊・事業所等の組織の中心を担う防災リーダーを養成し、作成した防災啓発用のDVDを活用しながら、所属する組織に実践的・継続的な防災啓発活動を推進します。	自治会や自主防災組織による津波避難経路等の整備に要する経費に補助金を交付します。				→		補助金の交付		A	津波避難経路等整備事業補助金については、制度の内容について、関係自治会へのチラシ配布や市ホームページで周知を図り、7件の津波避難経路の整備を行いました。今後も引き続き、津波避難経路等の整備を図っていきます。 地域自治区等を対象として防災リーダー育成のための研修会を行いました。また、自治会が気軽に防災について学べる教材DVDを配付します。今後は、地域が主体となり、それぞれの地域特性に応じた研修会や訓練に取り組む必要があります。
		自治会・事業所等に、実践的な防災リーダーを養成します。				→		防災リーダー研修会・訓練の実施			
		防災啓発用のDVDを作成し配布します。				→		DVDの作成・配布			
		地域特性により密着した、地震等の防災情報の提供拡大を行います。				→		防災講演会の実施			
		成果・活動量	津波避難経路等の整備箇所数 （H25目標値は、H24の実施状況を踏まえて設定する。）	目標値	－	－	－	7	7		
				実績値	－	－	－	7			
			防災リーダー訓練・研修会実施回数	目標値	－	－	－	20	21		
				実績値	－	－	－	33			
			防災リーダー訓練・研修会参加自治会数	目標値	－	－	－	500	500		
				実績値	－	－	－	533			
				目標値							
				実績値							

１ 市民による地域コミュニティの形成

１－２ 地域と学校の連携による感性豊かな「みやざきっ子」の育成

所管部課 ： 生涯学習課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	地域と学校の連携による子どもの育成（学校支援地域本部等） 地域全体で学校教育を支援するため、地域と学校との連携体制の構築を図り、多様な教員支援を可能とし、教員と子どもが向き合う時間の拡充を図るとともに、地域住民のさまざまな技術や技能を活用し、子どもの能力を伸ばします。	学校支援地域本部事業を実施します。【完了】				→ 地域と学校の連携促進事業へ移行				A	「学校支援地域本部事業」（20～22年度、住吉中校区及び清武町校区）、「地域と学校の連携促進事業」（22～26年度、大淀中校区、大宮中校区、23・24年度、住吉中校区）を実施しました。 24年度も各指定校において、配置された学校支援コーディネーターが教員の要望に応じて地域の方による学校支援ボランティアの募集・確保を行い、教育支援活動が推進されました。 また、モデル校の成果として「（仮称）学校支援ボランティア活動マニュアル」を作成中です。
		今後の方向性の検討を行います。 （地域と学校の連携促進事業へ移行します） ※清武町校区は移行なし				→ 方向性の検討	→ 地域と学校の連携促進事業の継続				
		成果・活動量	学校支援地域本部の設置	目標値	ー	4	3	3	2		
				実績値	2	4	3	3			
			学校支援ボランティアの登録者数	目標値	ー	700	900	900	900		
				実績値	467	1,196	1,537	1,263			
			学校支援ボランティアの活動分野数（国の分類数：24）	目標値	ー	22	23	24	24		
				実績値	22	23	23	23			
				目標値							
				実績値							

所管部課 ： 学校教育課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	保護者や地域住民による学校評価の推進 教育の質を保証し、地域と連携した開かれた学校づくりの推進のため、保護者や地域住民などからなる学校関係者評価委員が各学校の評価を行うとともに、HP等で結果を公表します。	学校関係者評価委員による小中学校の評価を行います。				→ 学校関係者評価委員による評価活動				A	24年度は、市内全25の中学校区で評価委員会を実施し、25年度の学校経営に反映させることができ、各学校のホームページで評価結果を公表しました。 また、校長や教務主任を対象として学校評価の意義や方法等についての研修を行いました。
		成果・活動量	教育活動の改善が図られた学校の割合（%）	目標値	ー	100	100	100	100		
				実績値	100	100	100	100			
			学校評価に関する研修回数	目標値	ー	2	2	2	2		
				実績値	2	2	2	2			
			学校関係者評価委員会を実施している学校の割合（%）	目標値	ー	100	100	100	100		
				実績値	100	100	100	100			
			学校評価結果を公表している学校の割合（%）	目標値	ー	100	100	100	100		
				実績値	100	100	100	100			

１－２　地域と学校の連携による感性豊かな「みやざきっ子」の育成

所管部課　：　学校教育課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	小中学校の連携によるスポーツ振興の推進（スポ少と部活動の交流） 各中学校のスポーツ活動の普及・振興を図るため、競技種目を選定し、中学校の部活動と小学校（スポ少など）との合同練習を年10回程度実施し、つながりのある指導体制を構築するとともに、スポーツ活動の振興と中学校での運動部活動の充実を目指します。	小中学校のスポーツ交流を年間10回程度実施します。				スポーツ交流の実施				A	23年度まで、計画に沿って市内全25中学校区でスポーツ交流事業を実施してきました。 24年度からは、事業の予算化はしておりませんが、これまで構築してきたノウハウをもとに、中学校ごとに小中学校連携したスポーツ交流を推進していきます。
		成果・活動量	運動部加入率（%）	目標値	ー	72	70	70	70		
				実績値	69	69	67	67			
			事業実施中学校区割合（%）	目標値	ー	100	100	100	100		
				実績値	100	100	100	100			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

１－２　地域と学校の連携による感性豊かな「みやざきっ子」の育成

所管部課　：　教委企画総務課・学校教育課
教育情報研修センター

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	「教員力」の向上（研修の充実・人事権移譲の推進・教育ビジョンの周知） 望ましい教職員像の具現化に向けて、小中学校の教員を対象に、教職員のライフステージに応じて、センターでの研修や所員が学校に出向く研修、教育研究論文や研究員の募集を行い,教職員の求められる資質や能力の向上を図ります。 そして、実践的指導力の高まりを検証するために、小中学校でのCRT検査を実施・分析し、児童生徒の学力向上を目指します。 また、地域の実情に応じた特色ある教育を行うことができるよう、県に対し、教職員の人事権移譲の早期実現に向け、様々な活動に取り組みます。 平成23年度からスタートする「教育振興基本計画（宮崎市教育ビジョン）」に関し、学校関係団体を中心とした周知活動を展開し、計画の浸透及び実践を目指します。	小中学校の教職員を対象にした研修を実施します。				→ 研修の実施				A	23年度から、「ねらいのはっきりした研修」「集める研修から出向く研修」「子どもと向きあう時間の確保」をモットーに研修計画を立て、計画通り実施したが、受講者の満足度96%と残念ながら目標を下回る結果となりました。 23年度の人事権移譲に関する検討委員会は、議論のテーブルを県全体へ広げ、6月・11月・2月の年3回、別途ワーキング会議についても年3回開催し、検討結果報告書をまとめました。これをもって、議論を一区切りとします。 CRT検査については、16年度以降の結果について、校長会研修において説明し、学力向上を促しました。今後とも、児童生徒の学力の状況を把握するため、CRT検査を実施してまいります。 宮崎市教育ビジョンの周知に関しては、5月から7月にかけて教育関係団体をはじめ地域協議会など8回延べ600名余りに対し、ダイジェスト版を使用しての説明を行いました。
		教職員の人事権移譲に向けた取り組みを行います。【完了】				→ 人事権移譲に向けた取り組みの実施					
		児童生徒の学力向上を目指します。				→ CRT検査の実施と分析					
		学校関係団体等に対して、教育振興基本計画（宮崎市教育ビジョン）の周知を行います。【完了】				→ 計画の周知					
		成果・活動量	研修後の受講者対象のアンケートの満足度「満足した」「まあまあ満足した」の割合（%）	目標値	―	95	97	97	97		
				実績値	97	97	97	96			
			人事権移譲に関する検討委員会の開催	目標値	―	3	3	―	―		
				実績値	0	3	3	―	―		
			教研式CRT(小4)で、評定が「十分満足」となった児童の割合(%)　①国語･②算数	①目標値	―	70	70	70	70		
				①実績値	68	69	64	68			
				②目標値	―	75	77	78	79		
				②実績値	73	67	69	72			
			教研式CRT(中1)で、評定が「十分満足」となった生徒の割合(%)　①国語･②数学･③英語	①目標値	―	76	77	78	79		
				①実績値	74	78	75	47			
				②目標値	―	47	50	53	55		
				②実績値	44	51	47	46			
				③目標値	―	62	64	65	66		
				③実績値	60	67	61	66			
			宮崎市教育ビジョン周知説明会の開催	目標値	―	―	3	―	―		
				実績値	―	―	8	―	―		

２ 市民の安全・安心

２－１ 子育て支援の充実（保育・医療）

所管部課 ： 子ども課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	**保育環境の充実** 入所児童の安全面・衛生面の確保のため、環境改善を図るとともに、多様な保育サービスを実施可能とし、保護者のニーズに対応するとともに、入所児童の健全な心身の発達に資することを可能にします。	社会福祉法人等に対し、保育施設整備のための補助を行います。				→				A	安心こども基金を活用し、17施設の整備補助を行い、370人の定員を増やしました。 25年度も基金を活用した補助を行い、保育所の環境整備に努めます。 また、認可外保育施設従事者の研修補助を行い、職員の資質向上、技術向上を図ることができました。 25年度以降も継続的な研修実施を呼びかけます。 ※「施設整備後の定員増数」について、22年度は県の補助枠が大きかったため目標を上回りました。
						施設整備に対する補助					
		認可外保育施設従事者の研修に係る費用に対して補助を行います。				→					
						認可外保育施設従事者の研修に対する補助					
		成果・活動量	施設整備後の定員増数	目標値	ー	45	45	70	30		
				実績値	30	195	75	100			
			施設整備件数	目標値	ー	3	3	3	2		
				実績値	1	8	4	5			
			研修を補助する認可外保育施設数	目標値	ー	10	10	10	10		
				実績値	0	7	6	10			
				目標値							
				実績値							

所管部課 ： 子ども課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	**乳幼児の一時預かりの推進** 就労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の疾病等による緊急時の保育需要に対応するため、認可保育所で行ってきた「一時預かり事業」について、新たに空き教室を利用して事業実施する認可幼稚園に対し、補助を行います。	事業説明を行った後、公募にて幼稚園を選定します。【完了】				→				A	私立幼稚園に対し、事業説明会を行った結果、公募で事業実施園を決定した園は1ヵ所のみでしたが、非常に多くの方に利用いただきました。 25年度以降も、引き続き事業実績をアピールし、実施園の拡大と利用促進を図ります。
						事業説明後、公募と選定					
		幼稚園の空き教室を活用した一時預かり事業に取り組む園に事業費の補助を行います。				→					
						事業開始					
		成果・活動量	延べ利用児童数	目標値	ー	3,000	1,500	1,600	1,720		
				実績値	0	1,443	1,648	1,613			
			事業実施施設数	目標値	ー	2	1	1	2		
				実績値	0	1	1	1			
				目標値							
				実績値							

２－１　子育て支援の充実（保育・医療）

所管部課　：　子ども課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	事業所内保育施設設置の推進 児童の健全な心身の発達とともに、仕事と子育ての両立が可能な雇用環境の整備のため、21世紀職業財団の「事業所内託児施設助成事業」など国の補助事業ともタイアップして、事業所内の保育施設の設置補助を行います。 【24年度完了】	大規模事業所に制度説明を行い、設置推進をします。				→				A	商工業団体や医師会を通じた制度説明を開催するなど制度の周知を図り、これまで2施設に補助を行い、事業所内保育所を開設しました。 市の補助金で実施してきた本事業は、24年度で終了し、引き続き、国の補助制度を活用した事業所内保育所の設置を進めます。
						事前協議事業者への制度説明					
		成果・活動量	補助施設数	目標値	―	1	1	1	―		
				実績値	0	1	0	1	―		
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　子ども課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	私立保育所の定員増の促進 現法令において、保育所の定員増は保育単価が下がり、職員の増員が必要なことから、保育の質を確保するため、定員増を図る施設は少なくなっています。そのため、定員増を行った保育所に対して、人件費の補助を行うことで、各施設における定員増を促進します。 【23年度完了】	10名以上の定員増を行った保育所に、人件費の一部を3年間補助します。				→				A	各認可保育所へ制度説明を行い、定員増の促進を行ったことにより、7園80名の定員増を行うことができました。 本事業は、23年度で終了し、老朽化による施設整備なども進めながら、定員増を図ります。
						定員増を行った保育所への補助					
		成果・活動量	定員増の児童数	目標値	―	80	10	―	―		
				実績値	0	60	20	―	―		
			施設数	目標値	―	8	1	―	―		
				実績値	0	5	2	―	―		
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

２－１　子育て支援の充実（保育・医療）

所管部課　：　子育て支援課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	地域子育て支援センターの充実 子育て拠点施設である地域子育て支援センターを活用し、子育て中の親子に、交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談事業や情報提供等を実施します。	子育て支援センターで子育て相談を実施します。				相談事業の実施				A	乳幼児人口の多い地域の子育て支援を充実させるため、23年10月から宮崎地区交流センターに「あおき子育て交流ひろば」を週3日開設し、同年11月から赤江東地区交流センターで「出張ひろば」事業を週2日実施しました。 23年度以降、利用者数が減っているのは、利用者の多かった中央東地域子育て支援センターの閉所や、他の施設の開設日数の見直しによるものです。 25年度には栄町、大島、本郷の3児童館において子育て交流ひろばを開設します。
		子育て支援センターで子育てに関する情報提供や講習会を実施します。				情報提供等の実施					
		既存の公共施設を活用した「出張ひろば」を開設します。					出張ひろばの開設				
		成果・活動量	子育て支援センターの利用者数	目標値	ー	110,000	123,000	120,000	120,000		
				実績値	102,032	122,423	121,649	121,399			
			相談の件数	目標値	ー	8,500	7,000	6,500	7,000		
				実績値	8,381	6,889	7,179	7,216			
			施設の数	目標値	ー	28	28	29	32		
				実績値	23	28	29	29			
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　生涯学習課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
6	児童クラブの待機児童解消と施設の充実 待機児童が多い児童クラブのうち、設置可能な学校敷地内に新たなクラブ室を設置することで、定員を拡大し、待機児童の解消を図ります。 また、施設の改築などによる児童クラブの一層の充実を図ります。	待機児童が多い児童クラブにおいて、クラブ室を新増設し、定員を拡大することにより待機児童の解消を図ります。				クラブ室の新増設による待機児童の解消				A	24年度に瓜生野児童クラブの新設や、檍児童クラブと少人数教室の共有化のための整備により定員拡大（45名増）を図りました。 また、大淀児童クラブにトイレを新設し、低学年児童の精神的な負担を軽減し、安全性の確保を図りました。 今後も引き続き、定員増や児童の安全確保を図ります。
		施設の改築などによる児童クラブの一層の充実を図ります。				施設改築等による児童クラブの充実					
		成果・活動量	児童クラブの整備箇所数	目標値	ー	3	3	3	3		
				実績値	4	4	3	3			
			児童クラブ定員総数	目標値	ー	2,247	2,427	2,487	2,547		
				実績値	2,187	2,367	2,437	2,482			
				目標値							
				実績値							

２－１　子育て支援の充実（保育・医療）

所管部課　：　健康支援課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
7	**妊婦の健康診査の促進** 現在、妊娠中に必要な健診14回の受診券を交付することで、妊婦の適正な健診受診を推進しています。 今後、国の補助制度の変更に伴い、妊婦に必要な健診が実施できるよう、適切な対応策を検討します。	内部検討を行うとともに、医師会等と協議します。				→検討及び医師会等との協議				A	妊婦健康診査に係る国の公費助成については、これまで補正予算により時限的に基金事業の延長を重ねてきましたが、25年度以降は地方財源を確保し普通交付税措置を講ずることにより恒久的な仕組みへ移行することが示されました。今後も医師会等の関係機関と協議を行い、25年度も14回の補助を実施します。
		新制度による妊婦健診を実施します。					→新制度による妊婦健診の実施				
		成果・活動量	妊婦健診受診券活用者割合（%）（受診券を活用した人の割合）	目標値	ー	100	100	100	100		
				実績値	100	100	100	100			
			妊婦健診受診券発行数（人）	目標値	ー	4,070	4,080	4,090	4,100		
				実績値	3,759	3,905	4,162	3,974			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　子ども課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
8	**乳幼児医療費の無料化** 行財政改革により削減捻出できる一般財源をもとに、就学前の子どもの医療費を完全無料化とし、子育て世帯への負担軽減と更なる子育て支援の充実を図ります。	23年度中の無料化実施に向けて検討します。				→無料化に向けた検討・準備				A	24年1月診療分から、既存の助成事業を拡充し、乳幼児医療費を完全無料化しました。 引き続き、適正な医療機関の受診を呼びかけながら、制度の円滑な実施に努めます。
		24年1月からの無料化に向けた準備を行います。					→乳幼児医療費の無料化				
		適正な医療機関への受診について、啓発を行う。					→広報紙などによる啓発				
		成果・活動量	新受給資格者数	目標値	ー	ー	24,000	25,000	26,000		
				実績値	ー	ー	25,481	25,880			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

２－１　子育て支援の充実（保育・医療）

所管部課　：　健康支援課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
9	**予防接種の充実** 市民の疾病予防のため、各種予防接種の実施に向け、検討します。	多くの市民がインフルエンザの予防接種を実施できるよう、国の制度変更を踏まえ見直しを行います。					→ インフルエンザ予防接種の実施				A	ヒブは20年12月より、子宮頸がん・小児用肺炎球菌は、23年1月より接種費用の助成を開始しました。なお、ワクチン不足等により、23年度前半は接種できない時期がありましたが、現在は順調に接種が進んでいます。 また、予防接種法の改正により、子宮頸がん等の3ワクチンは、定期の接種として位置づけられました。併せて、国から、予防接種に係る地方負担については、公費負担の対象範囲がこれまでと同様に9割となるよう、地方財源を確保し、普通交付税措置を講ずることが示されました。 25年度からは、4種ワクチン（水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎・ロタウイルス）の乳幼児への任意接種について、ワクチン代相当を助成します。 また、成人用肺炎球菌予防接種（ワクチン効果は5年）について、65歳以上の高齢者を対象に一部助成を行います。
		子宮頸がん及び肺炎球菌等の予防接種の実施を検討します。					→ 関係機関との協議及び法改正への対応					
		成果・活動量	高齢者インフルエンザ予防接種率（%）	目標値	―	60.0	63.0	63.0	60.7			
				実績値	―	64.8	60.1	59.7				
			子宮頸がんの予防接種者延数（人）	目標値	―	8,700	18,500	5,280	5,937			
				実績値	―	6,386	14,868	5,941				
			ヒブ（インフルエンザ菌b型）の予防接種者延数（人）	目標値	―	9,980	17,408	14,836	14,820			
				実績値	―	13,464	16,043	16,138				
			小児用肺炎球菌の予防接種者延数（人）	目標値	―	13,853	21,943	14,836	14,820			
				実績値	―	7,032	18,970	16,915				
			（新）乳幼児任意予防接種者延べ人数（人）	目標値	―	―	―	―	34,200			
				実績値	―	―	―	―				
			（新）高齢者肺炎球菌接種者延べ人数（人）	目標値	―	―	―	―	13,476			
				実績値	―	―	―	―				

２ 市民の安全・安心

２－２ 市民の健康づくり（疾病予防・生涯スポーツ・医療体制）

所管部課　：　健康支援課・保健給食課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	歯周疾患検診及びむし歯予防の促進 歯周疾患及びむし歯の予防のため、節目年齢への歯科検診を推進するとともに、未就学児のむし歯対策として、フッ化物洗口を推進します。 また、宮崎市立小中学校において、児童生徒の歯質を強化し、虫歯を予防するためフッ化物洗口を行います。 併せて、学校において歯科保健教育の充実を図ります。	節目年齢の市民に対し、歯周疾患検診を勧奨します。					歯周疾患検診の勧奨				A	２４年度の歯周疾患検診受診率については、「市政への提言」に寄せられた提言内容を受けて、当初、検診通知を各種がん検診と同じ受診券で行ったところ、受診率は大幅な低下となりました。そのため、ケーブルテレビ・ラジオ・健康福祉まつりなどのイベントでの周知・啓発を行うとともに、バス広告や未受診者全員に受診勧奨の通知を行った結果、受診率は３．６％まで向上しました。 ２５年度については、委託先である宮崎市郡歯科医師会と協議・検討を重ね、受診通知を単独で行い受診期間も5月から3月まで2ヶ月間の延長を行うこと、また、検診の自己負担金を500円（ワンコイン）に下げ、歯のクリーニングを検診項目に追加するなどの見直しを行い、受診率の向上を図っていきます。 未就学児フッ化物洗口については、保育園・幼稚園訪問、健診時に保護者へ説明等を行い、実施される園も順調に増えております。
		保育園児等に対し、フッ化物洗口に関する指導及び支援を行います。					フッ化物洗口に関する指導・支援					
		実施計画の策定後、学校歯科医、学校、保護者へ説明を行うとともに合意を得ます。					実施計画策定　学校歯科医、学校、保護者への説明合意					
		小中学校においてフッ化物洗口を実施します。					フッ化物洗口の実施					
		成果・活動量	受診率【受診者数／対象者通知者数】（％）	目標値	ー		7	7	7	7		
				実績値		6	6.5	6.5	3.6			
			未就学児のフッ化物洗口施設実施率（％）	目標値	ー		40	44	47	50		
				実績値		35	37	42	46			
			中学校１年（12歳）の１人平均むし歯本数	目標値	ー		1.17	1.10	1.00	0.95		
				実績値		1.19	1.16	1.22	0.99			
			フッ化物洗口実施学校数	目標値	ー		8	30	50	73		
				実績値		0	8	30	49			
				目標値								
				実績値								
				目標値								
				実績値								

２－２　市民の健康づくり（疾病予防・生涯スポーツ・医療体制）

所管部課　：　健康支援課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	予防接種の充実　＜再掲＞ 市民の疾病予防のため、各種予防接種の実施に向け、検討します。	多くの市民がインフルエンザの予防接種を実施できるよう、国の制度変更を踏まえ見直しを行います。					インフルエンザ予防接種の実施 →				A	ヒブは20年12月より、子宮頸がん・小児用肺炎球菌は、23年1月より接種費用の助成を開始しました。なお、ワクチン不足等により、23年度前半は接種できない時期がありましたが、現在は順調に接種が進んでいます。 また、予防接種法の改正により、子宮頸がん等の3ワクチンは、定期の接種として位置づけられました。併せて、国から、予防接種に係る地方負担については、公費負担の対象範囲がこれまでと同様に9割となるよう、地方財源を確保し、普通交付税措置を講ずることが示されました。 25年度からは、4種ワクチン（水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎・ロタウイルス）の乳幼児への任意接種について、ワクチン代相当を助成します。 また、成人用肺炎球菌予防接種（ワクチン効果は5年）について、65歳以上の高齢者を対象に一部助成を行います。
		子宮頸がん及び肺炎球菌等の予防接種の実施を検討します。					関係機関との協議及び法改正への対応 →					
		成果・活動量	高齢者インフルエンザ予防接種率（%）	目標値	―		60.0	63.0	63.0	60.7		
				実績値	―		64.8	60.1	59.7			
			子宮頸がんの予防接種者延数（人）	目標値	―		8,700	18,500	5,280	5,937		
				実績値	―		6,386	14,868	5,941			
			ヒブ（インフルエンザ菌b型）の予防接種者延数（人）	目標値	―		9,980	17,408	14,836	14,820		
				実績値	―		13,464	16,043	16,138			
			小児用肺炎球菌の予防接種者延数（人）	目標値	―		13,853	21,943	14,836	14,820		
				実績値	―		7,032	18,970	16,915			
			（新）乳幼児任意予防接種者延べ人数（人）	目標値	―		―	―	―	34,200		
				実績値	―		―	―	―			
			（新）高齢者肺炎球菌接種者延べ人数（人）	目標値	―		―	―	―	13,476		
				実績値	―		―	―	―			

２－２　市民の健康づくり（疾病予防・生涯スポーツ・医療体制）

所管部課　：　文化スポーツ課・公園緑地課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	**生涯スポーツの促進**（パークゴルフ場などの整備） 市民が気軽にスポーツ等を楽しめる環境づくりを進めるために、パークゴルフ場を整備します。 併せて、生涯スポーツの促進と施設の充実を図ります。	「こどものくに」の隣接地にパークゴルフ場を整備します。【完了】				→基本・実施設計	→工事	→供用開始		B	平成22年11月に造成工事に着手しましたが、工事が順調に進んだため、予定より半年程度の前倒しとなる12月21日に全面オープンできました。オープンに先立っては、公募で愛称を「あおパゴ」に決定したほか、日本パークゴルフ協会のコース公認を取得しましたので、指定管理者と連携して積極的な広報に努めました。利用者数は、オープン以降、レジャーによる利用も多く、順調に推移していましたが、梅雨時期の長雨や夏場の暑さにより利用客が落ち込んだため、今後は早朝・薄暮プレーを導入するなど、夏場の暑さ対策等を講じていきます。
		生涯スポーツの促進を更に図ります。				→生涯スポーツの促進					
		生涯スポーツ施設の充実を図ります。				→生涯スポーツ施設の充実					
		成果・活動量	パークゴルフ場の利用者数	目標値	―	―	―	39,000	47,000		
				実績値	―	―	12,570	33,011			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　保健総務課・総務医事課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	**田野病院の整備** 田野病院を改築整備し、病院機能の強化及び地域医療・救急医療の充実を図ります。 **【23年度完了】**	現在地で診療を行いながら、改築工事を施工します。【完了】				→改築工事（H21.6～H24.3）				A	23年10月から新病棟の全部を供用開始するとともに、太陽光発電設備や外構工事など、すべての工事が24年3月で完了しました。 また、MRIの新規導入や療養環境の充実など、病院機能の強化も図りました。 今後は、21年3月に策定した宮崎市病院事業経営計画（公立病院改革プラン）を基に、健全な事業運営に努めながら、地域医療・救急医療の一層の充実に取り組んでいきます。
		成果・活動量	病床利用率（%）	目標値	98.0	98.0	98.0	―	―		
				実績値	96.2	90.7	89.7	―	―		
			一日平均外来患者数（人）	目標値	130.0	130.0	140.0	―	―		
				実績値	101.3	101.6	100.1	―	―		

２－２　市民の健康づくり（疾病予防・生涯スポーツ・医療体制）

所管部課　：　地域保健課・健康支援課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	生活習慣病予防の啓発及び実践 市民に生活習慣病の予防のための各種検診の重要性を認識させるとともに、健康に関する情報を提供します。また、生活改善のための事業を展開します。	平成24年度中の実施に向けて検討・準備します。				→ 検討・準備				A	がん検診の受診率向上のため、講演会、コンサート等の啓発イベントを民間企業(広報や企画)とも協働し企画実施することができました。さらに、街頭キャンペーンでは、市民に直接働きかけを行うことができました。CKDに関しては、イベントや広報等での市民への啓発を行うとともに対応する職員の正しい知識の普及を図るため研修会を行いました。次年度も引き続き、啓発に努め、市民の行動変容に繋がる事業の展開に努めます。 生活習慣病予防のための調理実習や講話、食事分析など成人への食育機会の充実を図りました。今後も引き続き、市民のニーズに応じた教室の開催に取り組みます。
		イベントや街頭キャンペーン等を通して、啓発に努めます。				→ さまざまな機会を捉えての啓発					
		食生活を改善するため教室を開催し、行動変容できるよう支援します。				→ 市民への指導・支援					
		成果・活動量	生活習慣病（CKD及びがん対策）の啓発に係る事業数（回）	目標値	－	－	－	15	15		
				実績値	－	－	13	17			
			生活習慣病（CKD及びがん対策）の啓発に係る参加者数（人）	目標値	－	－	－	3,300	3,300		
				実績値	－	－	3,257	3,637			
			健康づくりの食育推進教室（調理実習など）の参加者延数（人）	目標値	－	－	－	450	450		
				実績値	－	－	－	558			
				目標値							
				実績値							

２ 市民の安全・安心

２－３ 生涯現役のための高齢者の交流の場と生きがいづくり

所管部課 ： 文化スポーツ課・公園緑地課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	**生涯スポーツの促進**（パークゴルフ場などの整備） ＜再掲＞ 市民が気軽にスポーツ等を楽しめる環境づくりを進めるために、パークゴルフ場を整備します。 併せて、生涯スポーツの促進と施設の充実を図ります。	「こどものくに」の隣接地にパークゴルフ場を整備します。【完了】				基本・実施設計	工事	供用開始		B	平成22年11月に造成工事に着手しましたが、工事が順調に進んだため、予定より半年程度の前倒しとなる12月21日に全面オープンできました。オープンに先立っては、公募で愛称を「あおパゴ」に決定したほか、日本パークゴルフ協会のコース公認を取得しましたので、指定管理者と連携して積極的な広報に努めました。利用者数は、オープン以降、レジャーによる利用も多く、順調に推移していましたが、梅雨時期の長雨や夏場の暑さにより利用客が落ち込んだため、今後は早朝・薄暮プレーを導入するなど、夏場の暑さ対策等を講じていきます。
		生涯スポーツの促進を更に図ります。				生涯スポーツの促進					
		生涯スポーツ施設の充実を図ります。				生涯スポーツ施設の充実					
		成果・活動量	パークゴルフ場の利用者数	目標値	―	―	―	39,000	47,000		
				実績値	―	―	12,570	33,011			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

所管部課 ： 長寿支援課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	**高齢者の健康維持と介護予防の推進** 高齢者の健康維持と介護予防を図るため、特に運動に特化した各種施策を実施します。	老人福祉センターや自治公民館に運動指導員を派遣し、健康運動教室を行います。				健康運動教室の実施				A	高齢者の健康維持を目的とし、運動に特化した事業を展開しています。 今後も介護予防の観点から高齢者の運動を周知・支援します。 体力向上プログラムについては、実績値が目標値（定員）を下回ったものの、前年度よりも参加率は上がっており、また、参加者の運動機能としては上昇していますので、効果は出ていると考えています。
		スポーツクラブ等で高齢者の体力向上プログラムを実施します。				スポーツクラブでのプログラムの実施					
		運動指導員が、健康運動教室等で高齢者に指導し、終了後は高齢者が自宅でできる介護予防プログラムを開発します。【完了】				仮プログラムの作成	仮プログラムの検証とプログラムの作成				
		成果・活動量	健康運動教室の延べ参加者数	目標値	―	23,500	26,000	32,000	37,000		
				実績値	20,334	25,500	32,000	36,592			
			体力向上プログラムの参加者数	目標値	―	180	180	200	220		
				実績値	24	120	150	178			
			新プログラムの作成数	目標値	―	4	7	―	―		
				実績値	0	4	7	―	―		

２－３　生涯現役のための高齢者の交流の場と生きがいづくり

所管部課　：　商業労政課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	シルバー人材センター活用の推進 高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業機会を確保するとともに、高年齢者の能力を積極的に活用することにより、生きがいの充実と社会参加、福祉の増進を図ります。 　また、中高年に対する就職支援を行います。	新たな支援方策を調査・検討した後、実施します。				→調査・検討	→新たな方策による支援			A	22年度に中核市等におけるシルバー人材センターの状況調査を行い、今後の支援について検討しました。 23年度は、高年齢者の働く場の拡大を目的とした高年齢者就業促進事業を宮崎市シルバー人材センターに委託して実施しました。 24年度は、中高年齢者の就職支援を目的とした事業を宮崎市シルバー人材センターに委託し、就職相談員を2名配置しました。
		高年齢者の希望に応じた就業機会を確保に努めます。【完了】					→就業機会の開拓など				
		中高年齢者（40歳以上）の就職を支援するため、就職に関する情報提供などを委託して実施します。						→就職関連情報提供等の実施			
		成果・活動量	会員数	目標値	―	1,400	1,420	1,440	1,460		
				実績値	1,374	1,405	1,355	1,267			
			就業延人日数（1か月）	目標値	―	10,000	11,000	11,100	11,200		
				実績値	10,410	10,799	11,934	11,123			

所管部課　：　都市計画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	コミュニティバスの運行支援 地域住民（高齢者や障がい者等の交通弱者）に必要な交通手段を確保するため、地域ニーズを把握するとともに、関係課と連携しながら、コミュニティバスの仕組みを再構築します。 　また、既存形態と異なるコミュニティバスの運行についての検証を行います。	現行制度の検証と調査を実施します。【完了】				→現行制度の検証と調査実施				A	現行制度の検証を行うため、地域住民に対しアンケート調査を行いました。 また、他都市の制度を参考にするため、中核市に対しコミュニティバスの運行状況について調査を行いました。 コミュニティバスの方針については、検討協議した結果、既存方針を継続することにしました。 既存方針から変更する点がなかったため、運輸局等と調整を図る必要がありませんでした。 今後、コミュニティバスの新たな運行形態について検証します。
		今後のコミュニティバスの方針をとりまとめます。【完了】					→方針のとりまとめ				
		運輸局等と調整を図ります。【完了】						→関係機関との調整			
		新たな形態によるコミュニティバスの運行について検証します。							→新たな運行の検証		
		成果・活動量	実態調査の実施回数	目標値	―	1	―	―	―		
				実績値	0	1	―	―	―		
			検討会議の開催数	目標値	―	12	12	―	―		
				実績値	0	10	12	―	―		
			検証を行うための地域との協議	目標値	―	―	―	2	3		
				実績値	―	―	―	2			

２ 市民の安全・安心

２－４ 障がい者の自立支援と社会参加の充実

所管部課 ： 障がい福祉課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	自立生活と社会参加促進のための就労支援・移動支援の推進 働く障がい者の経済的自立や工賃の改善を図るための支援や屋外での移動が困難な障がい者について外出のための支援を行なうことにより、地域における自立生活と社会参加を促進する。	障がい者の自立と社会参加のための就労支援を推進します。					就労支援の推進 →				A	工賃アップについては、共同販売会の日程がほぼ平日に限られたこと、また、新製品販売開始時期が遅れたことにより、昨年度並の実績になりました。 職場定着支援としてのワークサポーター派遣事業については、目標を達成しており、今後も更に支援事業の充実・強化に努めます。 障がい者ワークチャレンジ事業において受け入れた実習生の人数は、目標に達することができませんでした。 移動支援に係る事業のうち、重度障がい者の移動支援については、２３年１０月に新しいサービスが創設されたことにより、延べ利用者数が増加しています。
		障がい者の社会参加のための移動支援を推進します。					移動支援の推進 →					
		成果・活動量	障がい者就労支援活動連携強化事業により月額平均工賃アップ率（対22年度平均値）（%）	目標値	―	―	7.0	15.0	23.0			
				実績値	―	―	10.9	11				
			障がい者ワークサポーター派遣により就労継続している障がい者の定着率（%）	目標値	―	90.0	90.0	90.0	90.0			
				実績値	92.0	93.6	95.5	91.6				
			障がい者ワークチャレンジ事業において受け入れた実習生の人数	目標値	―	―	―	7	7			
				実績値	―	―	―	4				
			重度障がい者福祉タクシー券・福祉ガソリン券利用率（%）	目標値	―	74.0	76.0	78.0	80.0			
				実績値	69.9	72.5	76.9	74.4				
			重度障がい者移動支援にかかる年間延べ利用者数	目標値	―	2,400	2,600	2,800	3,000			
				実績値	2,240	1,320	1,575	3,437				
			福祉バス年間利用者数	目標値	―	5,350	5,500	5,650	5,800			
				実績値	5,542	4,524	5,379	5,489				

２－４ 障がい者の自立支援と社会参加の充実

所管部課 ： 障がい福祉課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	障がい者の地域生活移行の推進 障がいのある方が地域で暮らすための居住の場を確保するため、グループホーム・ケアホームの拡充を図ります。	障がい福祉サービス事業者へグループホーム・ケアホームの住戸数増加への働きかけを行います。					検討	実施			A	24年度は民間事業者のグループホーム新設があり、目標を上回る結果となりました。 市営住宅のグループホーム活用については、対象事業所への希望調査も完了しており、住宅利用の取扱要綱の整備（住宅課所管）が完了次第、地元自治会への説明、利用事業所の決定を行い、利用者の入居が可能となります。
		市営住宅をグループホームとして活用します。					庁内調整及び検討 基本計画の作成	基本計画の 実施	活用			
		成果・活動量	新規開設住戸におけるグループホーム・ケアホーム新規利用者数（宮崎市支給決定者）	目標値	―		0	2	6	8		
				実績値	―		0	21	13			
				目標値								
				実績値								
				目標値								
				実績値								

所管部課 ： 都市計画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	コミュニティバスの運行支援 ＜再掲＞ 地域住民（高齢者や障がい者等の交通弱者）に必要な交通手段を確保するため、地域ニーズを把握するとともに、関係課と連携しながら、コミュニティバスの仕組みを再構築します。 また、既存形態と異なるコミュニティバスの運行についての検証を行います。	現行制度の検証と調査を実施します。【完了】					現行制度の検証と調査実施				A	現行制度の検証を行うため、地域住民に対しアンケート調査を行いました。 また、他都市の制度を参考にするため、中核市に対しコミュニティバスの運行状況について調査を行いました。 コミュニティバスの方針については、検討協議した結果、既存方針を継続することにしました。 既存方針から変更する点がなかったため、運輸局等と調整を図る必要がありませんでした。 今後、コミュニティバスの新たな運行形態について検証します。
		今後のコミュニティバスの方針をとりまとめます。【完了】						方針のとりまとめ				
		運輸局等と調整を図ります。【完了】							関係機関との調整			
		新たな形態によるコミュニティバスの運行について検証します。								新たな運行の検証		
		成果・活動量	実態調査の実施回数	目標値	―		1	―	―	―		
				実績値	0		1	―	―	―		
			検討会議の開催数	目標値	―		12	12	―	―		
				実績値	0		10	12	―	―		
			検証を行うための地域との協議	目標値	―		―	―	2	3		
				実績値	―		―	―	2			

２ 市民の安全・安心

２－５ 消防体制の充実と災害に強いまちづくり（消防団・自主防災組織）

所管部課 ： 警防課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			（H21）	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	常備消防の充実 防火水槽の整備など、常備消防の基盤を充実させるとともに、消防隊の活動能力及び技術を向上させて、市民の安全・安心を強化します。 また、高度な救急医療に対処するため、医師の指導による救急隊員の研修を充実させるなど、救急業務の強化を図ります。	消防水利が基準に満たない地域などに、防火水槽等を整備します。				防火水槽等の整備 →				A	耐震性防火水槽を8基整備しました。 災害対応訓練については、化学テロを想定した国民保護計画に基づく多数傷病者の救出救護訓練や熊本県での緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に参加し、部隊活動能力の向上を図ることができました。 ※「防火水槽の整備数」は、予算の範囲内で計画的な整備に努めます。 ※救急救命士の研修は、再教育実施要領に基づき、計画的に実施していきます。
		消防・人命救助訓練を充実強化します。				消防訓練及び救助訓練の実施 →					
		救急救命士の病院内研修を実施します。				救急救命士の病院内研修の実施 →					
		成果・活動量	防火水槽の整備数	目標値	ー	11	8	8	8		
				実績値	11	11	5	8			
			災害対応等訓練実施回数	目標値	ー	45	46	47	48		
				実績値	35	45	46	47			
			救急救命士の病院研修受講者数	目標値	ー	48	50	52	54		
				実績値	45	48	49	46			
				目標値							
				実績値							

２－５　消防体制の充実と災害に強いまちづくり（消防団・自主防災組織）

所管部課　：　消防局総務課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	消防団への活動支援と組織の強化 老朽化した消防団拠点施設（団車庫）や災害時における通信連絡体制等の資機材を整備し、消防団活動を支援するとともに、一般団員による各種災害対応訓練や機能別消防団員（水上バイク隊）による救助訓練を実施しながら組織の強化を図り、消防力の充実に努めます。 また、消防団音楽隊や女性消防団による消防団活動のPRを行い、組織の活性化を図ります。	老朽化した消防団拠点施設を更新計画に基づき整備します。				団車庫の更新				A	今年度は、東日本大震災後、消防団装備の充実を図るため、国の補助事業を活用し水災用資機材及び夜間活動用資機材を整備し、消防団活動時の安全対策強化を図りました。 また、消防署隊との合同訓練や分団ごとの訓練を実施しました。 今後も新たに整備した資機材を活用しながら、、計画的、効果的な訓練を行い、消防団の充実強化を図ります。
		災害時等における通信連絡手段等の資機材を整備し、消防団活動を支援します。【完了】				災害現場用トランシーバー等の資機材整備					
		消防団による各種災害対応訓練を実施し、消防力を強化します。また、水上バイク隊を活用した救助活動を強化します。				一般団員よる各種訓練及び水上バイク隊を活用した訓練等					
		消防団音楽隊や女性消防団による啓発活動を行います。				音楽隊や女性消防団による啓発活動					
		成果・活動量	団車庫の解体新築数	目標値	ー	2	1	1	1		
				実績値	2	2	1	2			
			トランシーバーの整備数	目標値	ー	87	95	96			
				実績値	0	87	95	235			
			消防団分団単位の訓練回数（50回） 水上バイク隊の訓練回数（6回）	目標値	ー	56	56	56	56		
				実績値	55	53	64	61			
			音楽隊演奏回数（17回） 女性消防団イベント参加回数（10回）	目標値	ー	25	27	27	27		
				実績値	23	27	29	31			

２－５　消防体制の充実と災害に強いまちづくり（消防団・自主防災組織）

所管部課　：　警防課・福祉総務課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	**自主防災体制の強化** 新規に結成した自主防災組織に防災資機材等を交付するとともに、住民が参加する防災訓練を指導する等、住民への防災意識の向上を図りながら、災害に強いまちづくりを推進します。 また、地域消防防災支援隊員を市民が行う防災活動のアドバイザーとして育成し、地元消防団や地域センター等との連携を図ります。 併せて、災害時に援護が必要な方の地図情報システムを整備し、体制の充実を図ります。	新規に結成された自主防災組織に対して、資機材を整備します。					自主防災組織への資機材の整備				A	２４年度は、自主防災資機材を結成自主防災組織のうち、１４組織に交付しました。（交付率は９７．１％）今後も引き続き、結成自主防災組織への交付を行ってまいります。 また、地域消防防災支援隊は、地域まちづくりへの参画を推進し、地域に密着した活動や防災訓練の支援、指導を行いながら、地域防災力の更なる向上を目指します。
		各地域での防災訓練を指導します。					防災訓練の指導					
		地域消防防災支援隊員を育成して、地域での防災活動を支援します。					地域消防防災支援隊員の育成					
		災害時に援護が必要な方について地図情報システムを整備します。【完了】					地図情報システムの整備					
		成果・活動量	防災資機材交付組織数	目標値	ー	19	15	14	14			
				実績値	129	20	15	14				
			防災訓練参加住民数	目標値	ー	25,000	25,000	25,000	25,000			
				実績値	25,985	16,599	25,415	23,342				
			防災支援隊員の活動回数	目標値	ー	15	23	38	40			
				実績値	0	16	30	91				
				目標値								
				実績値								

３ 市民の所得向上

３－１ 雇用確保に向けた企業誘致の推進と工業の振興

所管部課 ： 工業政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	企業立地の促進 雇用の場を確保・拡大するため、企業誘致活動を強力に展開し、企業立地を促進します。 また、企業ニーズの的確な把握に努め、宮崎の気候・風土にあった企業の誘致活動を積極的に展開します。	雇用の場を確保・拡大するため、企業誘致活動を強力に展開します。				企業誘致活動の展開				A	県、市東京事務所や関係機関と連携を図りながら情報収集や企業訪問を行うとともに、アンケートを活用した企業のニーズ把握を行うなど、企業誘致活動を展開しました。 企業立地については、円高や東日本大震災、企業の海外進出等による影響もありましたが、目標値を上回る企業の立地となりました。 また、アンケートにより企業の投資意欲の調査を行いましたが、長引く不況の影響により目標には達していないものの、回答のあった企業に将来を見据えた訪問を行いました。 今後とも企業のニーズを的確に把握し、積極的に誘致活動を行います。
		民間調査会社のノウハウを活用した企業ニーズの把握に努めます。【完了】				民間を活用したニーズの把握					
		市単独のアンケート調査による企業ニーズの把握に努めます。						アンケート調査によるニーズの把握			
		成果・活動量	企業立地件数（地場を含む）	目標値	―	7	10	10	10		
				実績値	7	14	11	11			
			民間調査会社を活用した企業ニーズ把握に基づく企業訪問件数	目標値	―	―	20	―	―		
				実績値	―	―	7	―	―		
			アンケート調査による企業ニーズ把握に基づく企業訪問件数	目標値	―	―	―	10	10		
				実績値	―	―	―	5			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

３－１　雇用確保に向けた企業誘致の推進と工業の振興

所管部課　：　工業政策課・農商工連携室

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			（H21）	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	農商工連携による地場産業の振興 中小企業者や農業者が産業の壁を超えて連携し、お互いのノウハウや技術等を活用することで、両者の持つ強みを発揮した新商品の開発や販路開拓等を促進します。	中小企業者や農業者を対象にしたセミナーを開催します。【完了】				→ セミナーの開催				A	関係団体と連携し、農商工連携セミナーとして、研修やグループワーキングを実施しました。 また、「食のブランド活性化in街中事業」を活用し、みやざき緑竹会や女性農業者グループ、佐土原ナス研究会が「街市」へ出店するのを支援するとともに、商工会議所主催で初めて開催された「みやざき産業祭」への出展を支援するなど、農業者と商業者との連携推進による地場産品のPR活動やブランド確立などに取り組みました。 一方、地域雇用創造協議会が実施する雇用創出のためのセミナーの充実・強化も図るなど、引き続き産業の垣根を越えた連携推進に取り組みます。
		農商工混在のグループで、それぞれの課題解決について研究します。【完了】				→ 課題解決の研究					
		中心市街地におけるイベント等を通して、農林水産業者と商工業者の連携活動を推進します。					→ イベント等の実施				
		成果・活動量	セミナー参加者数	目標値	―	150	200	―	―		
				実績値	210	170	244	―	―		
			セミナー開催数	目標値	―	5	5	―	―		
				実績値	6	7	3	―	―		
			連携の実績数	目標値	―	3	4	―	―		
				実績値	2	2	5	―	―		
			商工業者との連携による地場産品PR回数	目標値	―	―	4	4	4		
				実績値	―	―	5	7			
				目標値							
				実績値							

３－１　雇用確保に向けた企業誘致の推進と工業の振興

所管部課　：　工業政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	産学官連携によるものづくり技術の強化 宮崎の生産力・開発力を高めるため、新製品・新技術開発の支援を積極的に行います。 また、事業者の開発段階における支援を行ないます。	ふるさと雇用再生特別交付金を活用し、産学官連携コーディネーターによる新製品・新技術の開発等を支援します。【完了】				→ 連携コーディネーターの開発支援				A	中小企業のものづくり技術改善に対する補助を、有識者等からなる審査会を経て、22年度4件・23年度1件・24年度3件採択するとともに、各機関の各種支援制度の有効活用など戦略的な連携を進めています。 今後は、産学官連携や農商工連携によるネットワークを活用して、技術・製品開発につながる取り組みに対して支援を行います。
		ものづくり技術改善に対する補助を行います。【完了】				→ ものづくり技術改善の補助					
		技術・製品開発につながる取り組みに対して補助を行います。							→ 開発段階の支援		
		成果・活動量	連携の実績数	目標値	―	10	10	―	―		
				実績値	―	10	6	―	―		
			採択件数	目標値	―	4	4	3	―		
				実績値	―	4	1	3	―		
			(新)補助件数	目標値	―	―	―	―	15		
				実績値	―	―	―	―			
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　工業政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	誘致企業サポートの推進 誘致企業のニーズ等を把握し、誘致企業の事業強化と企業が立地できる環境の整備を図るため、市誘致企業連絡協議会の活動を支援します。	連絡協議会の研修会、情報交換会等の開催を支援します。				→ 研修会等の開催支援				B	宮崎市誘致企業連絡協議会との情報交換や協議会の行う事業を支援しています。 高校、短大、大学の就職支援担当者との情報交換会や講師を招いての講演会などを開催しました。 協議会の会員数については、他団体等との合同の研修会を実施するなど会員の増加を図っているところであり、入退会により増減がない状況です。 今後とも、市誘致企業連絡協議会の事業活動を支援し、誘致企業のニーズ等の把握に努めます。
		成果・活動量	連絡協議会の会員数	目標値	―	50	70	100	150		
				実績値	33	36	51	50			
			研修会等の開催件数	目標値	―	2	2	2	2		
				実績値	0	1	2	3			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

３－１　雇用確保に向けた企業誘致の推進と工業の振興

所管部課　：　工業政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	**工業団地の整備** 先端技術の製造業や低炭素関連産業が立地可能な中核的工業団地として宮崎ハイテク工業団地を位置づけ、企業立地の環境整備を進めます。 また、地場企業の移転増設用地としての新たな工業団地の適地調査を行います。 看板を設置していない既存の工業団地や老朽化した誘導標識等を整備し、誘致企業のPRを図ります。	宮崎ハイテク工業団地の整備を行います。【完了】					→ 工業団地の整備				A	22年度に宮崎ハイテク工業団地の造成が完成し、24年度に1社が立地することになった。今後とも積極的な誘致活動を行い、企業立地の促進を図ります。 また、工業団地への案内標識や工業団地内の案内看板を設置したことにより、立地環境の向上を行うとともに、誘致企業へのPRを図ることができました。
		宮崎ハイテク工業団地への誘致活動を進めます。					→ 誘致活動・企業立地					
		工業団地の案内板等を整備します。【完了】					→ 案内板等の設置					
		新たな工業団地の調査を行います。【完了】					→ 工業団地適地調査					
		成果・活動量	ハイテク工業団地における立地企業数	目標値	―	―	1	1	1			
				実績値	―	―	0	1				
			案内板等の設置件数	目標値	―	2	2	2	―			
				実績値	―	2	5	2	―			
				目標値								
				実績値								

所管部課　：　工業政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
6	**中小企業等の支援育成**（住宅リフォーム助成事業） 経済波及効果の大きい住宅リフォームに対する補助制度を期間限定（22・23年度の2ヵ年事業）で実施することにより、本市域における緊急の地域経済対策を行います。 2ヵ年間の緊急経済対策（平成22・23年度）を1年限り延長して実施します。 【24年度完了】	市内に居住する人が、市内の施工業者を使って、持ち家の住宅リフォームを行う場合に、その経費の一部を助成します。【完了】					→ 緊急地域経済対策の実施				A	緊急地域経済対策として22・23年度の2ヵ年事業として実施しましたが、さらに1年限り延長し実施しました。補助額に対する総工事費は、3年間で約8．8倍となり一定の経済効果を生みました。
		上記助成事業を1年限り延長して実施します。【完了】					→ 1年延長し、24年度で終了					
		成果・活動量	助成件数（H24目標値：平成22年度実績に基づく） ※H22・23実績値は補助金交付件数	目標値	―	1,000	2,000	850	―			
				実績値	―	858	1,643	812	―			
				目標値								
				実績値								
				目標値								
				実績値								

３－１　雇用確保に向けた企業誘致の推進と工業の振興

所管部課　：　工業政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
7	**中核的企業の雇用と設備投資等の促進** 本市の中核的企業である誘致企業、地場企業が取り組む新規雇用や設備投資に対し、緊急の地域経済対策として、新たな助成措置を講じることにより、雇用促進及び経営安定を図るとともに地域経済の活性化を図ります。	中核的企業が、地元事業者を活用して施設改修等を行う場合に、その経費の一部を助成します。					→ 施設改修等への一部助成				B	緊急地域経済対策として、本市の中核的企業に対し、施設改修に対する経費の一部助成や新規に雇用があった場合に奨励金を交付しました。 23年度、24年度ともに目標値に達していませんが、設備投資の需要が高まる傾向にあるため、今後ともあらゆる機会を通じて対象企業への事業周知を図り、本市の経済の振興や雇用の確保に努めていきます。
		中核的企業が、新たに雇用し、引き続き6ヶ月以上雇用があった場合に奨励金を交付します。					→ 新規雇用に対する助成					
		成果・活動量	設備投資等助成件数（件）	目標値	ー	ー	70	50	50			
				実績値	ー	ー	34	15				
			雇用促進奨励金交付新規雇用者数（人）	目標値	ー	ー	500	250	250			
				実績値	ー	ー	159	206				
				目標値								
				実績値								
				目標値								
				実績値								

３ 市民の所得向上

３－２ 農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課 ： 工業政策課・農商工連携室

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	農商工連携による地場産業の振興 ＜再掲＞ 中小企業者や農業者が産業の壁を超えて連携し、お互いのノウハウや技術等を活用することで、両者の持つ強みを発揮した新商品の開発や販路開拓等を促進します。	中小企業者や農業者を対象にしたセミナーを開催します。【完了】				→ セミナーの開催				A	関係団体と連携し、農商工連携セミナーとして、研修やグループワーキングを実施しました。 また、「食のブランド活性化in街中事業」を活用し、みやざき緑竹会や女性農業者グループ、佐土原ナス研究会が「街市」へ出店するのを支援するとともに、商工会議所主催で初めて開催された「みやざき産業祭」への出展を支援するなど、農業者と商業者との連携推進による地場産品のPR活動やブランド確立などに取組みました。 一方、地域雇用創造協議会の実施する雇用創出のためのセミナーの充実・強化も図るなど、引続き産業の垣根を越えた連携推進に取組みます。
		農商工混在のグループで、それぞれの課題解決について研究します。【完了】				→ 課題解決の研究					
		中心市街地におけるイベント等を通して、農林水産業者と商工業者の連携活動を推進します。					→ イベント等の実施				
		成果・活動量	セミナー参加者数	目標値	―	150	200	―	―		
				実績値	210	170	244	―	―		
			セミナー開催数	目標値	―	5	5	―	―		
				実績値	6	7	3	―	―		
			連携の実績数	目標値	―	3	4	―	―		
				実績値	2	2	5	―	―		
			商工業者との連携による地場産品PR回数	目標値	―	―	4	4	4		
				実績値	―	―	5	7			
				目標値							
				実績値							

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農政企画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	新規農業挑戦者への支援と経営安定への取組み 経営に必要な初期投資（農地確保、機械取得など）に係る費用に対する支援を行い、意欲ある多様な担い手を確保・育成します。	県事業（みやざき担い手経営資源承継総合対策事業）を活用し、新規就農者へのリースを目的とした施設整備費に係る助成を行います。（①）				施設整備に係る助成				A	就農支援を希望する新規就農者全てに対して、支援を行うことができました。 ※市単独補助事業を活用した新規参入者数（②）については、24年度は15名の目標に対し、実績が19名となりました。 ※新規参入者の施設導入については、国の経営体育成支援事業の利用を予定していましたが、不採択となり、葉たばこ作付転換緊急対策事業として整備を実施しました。
		県事業（みやざき担い手経営資源承継総合対策事業）を活用し、リース料のうち、利子相当分に係る助成を行います。（①）				リース料のうち利子相当分に係る助成					
		市単独補助事業により、農業機械導入に係る助成、農地賃借料に係る助成及びJA等が整備した施設ハウス等のリース料に係る助成を行います。（②）				市単独補助制度による助成					
		国・県事業の活用により、新規就農者の施設や機械の導入に要する経費を助成します。また、認定農業者等の組織する団体の共同利用施設の整備に要する経費を助成します。（③）				施設整備等に係る助成					
		市単独事業の制度拡充の検討を行います。【完了】				制度拡充の検討					
		成果・活動量	当事業を活用した新規参入者数【個人】（①）	目標値	―	2	2	2			
				実績値	2	0	2	4			
			当事業を活用した新規参入者数【個人】（②）	目標値	―	7	10	15	15		
				実績値	7	13	20	19			
			当事業を活用した新規参入者数【個人】（③）	目標値	―	20	13	8	―		
				実績値	0	10	14	8	―		
			当事業を活用した新規参入者数【団体】（③）	目標値	―	―	1	―	―		
				実績値	―	―	1	―	―		

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農業振興課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	畑作営農の推進 現在遊休化している畑地を有効活用し、栽培や生産拡大に繋がる取り組みに対し支援を行うことで、新産地や新品目の育成及び農家所得の向上を図ります。 また、葉たばこ廃作地における露地野菜の生産振興のための資機材の導入に対する支援を行います。	契約栽培や加工・業務用野菜等の生産振興に向けた展示圃の設置や簡易ハウス、資機材の導入等の取り組みに対する支援を行います。				→ 各種調査、検討及び新産地育成に向けた具体的な取り組み				A	有望品目の実証、検証のための実証展示圃の設置や、千切大根のつき機、吹上機、高速洗浄機や夏秋ピーマン等のアーチパイプ等の導入に対し、ソフト、ハード両面からの支援を行い、順調に取り組みが進んでいます。 ※左記の「取組面積」については、天候や価格変動の影響を考慮し、平均的な目標を設定しています。
		露地野菜の生産振興のための資機材の導入に対する支援を行います。				→ 露地野菜の新産地育成					
		葉たばこ廃作地における露地野菜の生産振興のための資機材の導入に対する支援を行います。				→ 葉たばこ廃作地における露地野菜の新産地育成					
		成果・活動量	畑作営農推進　取組面積(ha)	目標値	ー	1.0	5.0	5.5	5.5		
				実績値	0	4.5	6.0	6.3			
			露地野菜生産振興のための資機材導入の取組面積(ha)	目標値	ー	2.0	10.0	10.0	10.0		
				実績値	0	14.1	16.5	33.4			
			葉たばこ廃作に伴う露地野菜生産振興のための資機材導入の取組面積(ha)	目標値	ー	ー	ー	17.0	17.0		
				実績値	ー	ー	ー	30.5			
				目標値							
				実績値							

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　森林水産課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	水産物のブランド化・定着化 魅力的な水産業づくりを実現するため、ブランドコーディネーターを配置し、「青島どれ」魚種の新たなブランド産品を確立し、販路拡大や漁価の安定を図ります。	宮崎市漁協に「ブランドコーディネーター」を配置します。				→ コーディネーターの配置				A	コーディネーターによる新商品の開発・流通経路の開拓に努めた結果、一般販売額は概ね順調に推移しています。また、23年度には、「活魚パック機」を、24年度には、「シール印刷機」、「ハモ中骨取り開き機」を導入し、加工の効率化と販売力強化のため支援を行いました。 また、レストランの来客数及び直売所の売上は、イベントの開催による効果も大きいところですが、23年度24年度と天候悪化のためイベント開催が中止されたこともあり、これが来客数の実績となっております。今後もイベント開催を支援しながら、集客に結びつけていきます。 ※直売所の売上額については、レストランの売上も含みます。
		「青島どれ」水産物の商品開発をし、新たな流通経路を開拓します。				→ 新商品の開発・流通経路の開拓	→ 活魚パック導入支援				
		青島への来客数増のため、効率的な広報に支援を行います。					→ 広報活動支援				
		成果・活動量	ハモ製品一般販売の実績（万円）	目標値	―	150	200	―	―		
				実績値	58	151	390	―	―		
			新規販売先の開拓件数	目標値	―	5	5	―	―		
				実績値	0	5	4	―	―		
			新商品の開発件数	目標値	―	2	4	1	1		
				実績値	2	4	1	1			
			直売所の売上額（万円）※	目標値	―	―	9,000	9,000	9,000		
				実績値	8,543	8,011	12,609	10,402			
			港あおしま（直営レストラン）の来客数	目標値	―	―	38,000	38,000	38,000		
				実績値	34,559	35,035	34,493	32,739			

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農業振興課・農政企画課
農商工連携室

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	農畜産品のブランド化・定着化 （宮崎牛、日向夏、みやざきの花） 安全・安心なみやざきの農畜産物への理解と信頼を得て、「みやざきブランド」の定着・拡大を図るとともに、PR等により消費拡大を図ります。 また、「みやざきの花」のPRの取組に対する補助を行います。	新たなブランドの認証や消費拡大、ブランド定着化推進の取り組みに対する補助を行います。				PRの実施				A	ブランド認証については、コチョウランについて、JA部会により認証取得に向けた検討を行っています。 優良雌子牛の保留促進の取組については、引き続き推進していきます。 果樹の苗木導入については、順調に推移しています。 花きの環境配慮・産地力向上の取組は、被覆資材として価格の高い紫外線カットフィルムの導入を行ったため、取組面積は目標に達しませんでしたが、補助事業を活用しての取組が順調に進んでいます。 市内産の花きの消費拡大を図るため、今年度から新たに「みやざきの花」のPRに取り組んでいます。 ※優良繁殖子牛の保留頭数については、22年度は、口蹄疫からの復興対策として、緊急的に800頭分を予算措置しましたが、23年度以降については、平年ベースに戻して年間323頭分を予算措置して、それに基づく目標を設定しました。
		子牛品評会で入賞、又は指定交配された優秀な子牛を保留・導入する畜産農家に対する助成を行います。				保留・導入に対する助成					
		果樹苗木導入に係る初期費用負担を軽減するため、優良品目、品種に係る苗木導入に対する支援を行います。				苗木導入支援	産地拡大・振興への取り組み支援				
		「みやざきの花」の振興のため、環境に配慮した生産や花の産地力向上の取り組みに対する補助を行います。				営農集団の活動支援					
		「みやざきの花」のPRの取組に対する補助を行います。						営農集団の活動支援			
		日向夏の光センサー利用による非破壊選果機の研究について、宮崎大学に委託するとともに、システム導入に向けた検討を行います。【完了】				研究委託	非破壊選果システムの導入検討				
		成果・活動量	商品ブランド認証数（品）	目標値	―	9	10	11	11		
				実績値	9	9	9	9			
			優良繁殖子牛の保留頭数	目標値	―	323	323	323	323		
				実績値	273	670	323	323			
			果樹の苗木導入面積の拡大（a）	目標値	―	110	120	130	140		
				実績値	75	494	479	148			
			花きの環境に配慮した生産等への取組面積（ha）	目標値	―	10.3	10.5	10.7	11.0		
				実績値	12.2	9.9	4.79	3.47			
			環境配慮・産地力向上に取り組む生産者団体数	目標値	―	2	3	3	3		
				実績値	6	6	4	4			
			PRした花の種類数	目標値	―	―	―	10	10		
				実績値	―	―	―	10			
			非破壊選果システムの構築件数	目標値	―	1					
				実績値	0	1					

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　森林水産課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
6	地場産木材の利用促進 木材の活用を促進し、宮崎市産材の需要拡大を図ります。	新築住宅に対する宮崎市産木材の利用促進策を検討します。				→ 内部協議				B	森林認証制度を活用した市産材の利用促進に取り組み、24年度の認証森林面積は、目標であった1，700haを超えることとなりました。 しかしながら、国の森林整備地域活動支援事業については24年度より除伐や作業網の点検等が支援対象外となり、交付単価が変更（減額）されるなど大幅な見直しが行われたため、活動支援実施協定面積については目標に届きませんでした。 計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、今後は施業の集約化を進める従来の共同施業型に加え、森林組合などが森林所有者から委託を受けて森林の管理運営を行う経営委託型も視野に入れ支援を進めていきます。
		一定規模以上の住宅の新築に対し、宮崎市産木材の利用を促進します。					→ 認証取得補助		→ 事業の実施		
		地域材を活用した木造施設の整備又は内装の木質化を実施する事業者に対し、整備費の支援を行います。				→ 整備に係る助成					
		森林の適正な維持管理、育成のため境界の明確化や作業路等の草刈、補修に対して支援を行います。				→ 活動に対する支援					
		成果・活動量	森林認証取得面積(ha)	目標値	―	―	1,200	1,700	1,700		
				実績値	0	―	1,200	1,726			
			宮崎市産認証材使用の新築件数	目標値	―	―	―	―	20		
				実績値	―	―	―	―			
			地域材活用施設の木材使用量（㎥）	目標値	―	150	―	―	―		
				実績値	0	86	―	―	―		
			森林活動支援実施協定面積（ha）	目標値	―	2,150	2,350	1,560	1,600		
				実績値	2,137	2,303	1,340	463			

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農業振興課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
7	農畜産物の生産振興 新たな農業技術の導入などを積極的に行いながら、個性豊かで力強い産地づくりに取り組みます。	安定的な生産基盤確立のため、住宅密集区域から施設の郊外移転を行う畜産農家に対する一部費用の助成を検討します。				助成の検討及び助成の実施				A	口蹄疫の発生予防と併せて、２４年度に、畜舎の新・増改築に対する一部助成を実施し、10件の農場の衛生環境が向上しました。 お茶の新改植については、これまで市独自で支援してきましたが、補助内容がより有利な国の事業が施行されたため、今後は国の事業を活用して、支援を行います。 省エネ資機材の導入については、国庫補助事業の申請が行われたものの採択の基準となるポイントが低く、一部しか採択されなかったため、導入面積の実績値が少なくなりました。今後は、事業費や希望農家のハウス状況を精査し、ポイントが高くなるよう検討していきます。
		お茶の品質向上や規模拡大のため、苗の新植・改植に取り組む生産者に対する支援を行います。				新植・改植に対する助成					
		施設園芸の省力化や品質向上対策に係る資機材の導入に対する支援を行います。				施設園芸における省力化、商品性向上対策への支援					
		施設園芸の省エネ資機材導入に対する支援を行います。				省エネ資機材の導入支援					
		集出荷施設・機械の再編整備に対する支援を行います。【完了】				施設等の整備					
		成果・活動量	畜舎整備（新・増改築）件数	目標値	―	―	―	6	6		
				実績値	0	―	―	10			
			新改植面積（ha）	目標値	―	1.5	1.5	1.5	0.5		
				実績値	0	1.7	1.0	0.35	－		
			省力化や品質向上対策の資機材の導入面積（ha）	目標値	―	26.0	23.0	23.0	20.0		
				実績値	5.7	13.72	22.0	46.2			
			省エネ資機材導入面積（ha）	目標値	―	25.0	25.0	25.0	25.0		
				実績値	18.4	15.19	10.0	12.1			
			集出荷施設等の整備に係る主要品目出荷量（t）	目標値	―	―	260,000	－	－		
				実績値	230,576	―	217,000	－	－		

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農政企画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
8	農業法人の育成と経営安定に対する支援 規模拡大や施設・機械等の整備・導入により経営安定化を図ろうとする農業法人に対し、農地取得や、施設整備等にかかる経費を助成するほか、資質向上を目的に組織化された農業法人組織の活動を支援し、意欲ある多様な担い手として確保・育成します。	経営向上を目的として借り入れる制度資金の利子、農地賃借料等に対し、一部を助成します。(①)				→	→	→	→	A	生産性向上を目指し農業制度資金を活用して施設整備を行った農業法人については、他の事業を活用し利子補給を行うことにより、経営の安定が図られました。
						利子補給(5年間)、農業制度資金信用保証料の助成					
		設立後5年以内又は、他産業から新規参入した農業法人を対象に、農産物の生産・加工・販売の機械導入等に必要な経費の一部を助成します。(②)				→	→	→	→		
						施設整備等に係る助成					
		「宮崎市元気な農業法人会」の研修、調査等の活動を支援します。(③)				→	→	→	→		
						研修、調査活動の支援					
		成果・活動量	当事業の活用により制度資金を借り入れた法人数(①)	目標値	ー	5	7	7	7		
				実績値	1	6	8	3			
			当事業の活用により施設・機械を整備した法人数(②)	目標値	ー	3	2	2	2		
				実績値	3	0	0	0			
			市内の農業法人数(③)	目標値	ー	91	93	95	100		
				実績値	89	91	93	98			

所管部課　：　農政企画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
9	集落営農の組織化の推進 継続的な水田農業を行うため、集落ぐるみで協力し営農を営む集落営農組織の設立、育成を支援します。	モデルとなる集落において、関係機関が外部リーダーとなり、集落の話し合い活動の支援を行います。				→	→	→	→	A	農業者の高齢化の進展、米販売価格の下落が進むなど、水田農業の継続については益々厳しい状況になってきています。 集落における話合い活動をモデル地区で実施していますが、農作業の受託組織の活動が主に行われ、担い手である園芸農家が多忙なこともあり集落内の話し合い活動が進まない状況です。 今後は、現在、各地域集落ごとに作成を予定している人・農地プランの話し合いの中で、集落営農の推進活動を行います。
						集落活動の支援					
		集落営農に取組もうとする意欲がある組織に対し支援を行います。				→	→	→	→		
						活動費支援					
		成果・活動量	集落営農モデル地区(集落数)	目標値	ー	10	10	10	10		
				実績値	8	10	10	10			
			集落営農組織数(集落数)	目標値	ー	3	3	3	3		
				実績値	1	1	1	1			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農政企画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
10	中古ハウスの利活用の推進 農家の高齢化の進行により、増加が予想される中古ハウスの利活用を促進し、規模拡大や経営改善を目指す担い手の支援を行います。	中古ハウスの情報提供を行うことで、利活用を推進し、基幹作物である施設園芸の産地維持を行います。				情報提供 →	→	→	→	A	中古ハウスの利活用については、概ね順調に進んでいます。 引き続き、中古ハウスの利活用を促進し、規模拡大や経営改善を目指す担い手の支援を行います。
		中古ハウスを補修することで利用可能期間の延長対策を行い、担い手の規模拡大を支援します。				補修費支援 →	→	→	→		
		中古ハウスを移設し施設の集約を図ることで、作業効率を高め、コストの削減を図り、担い手の経営安定の支援を行います。				移設費支援 →	→	→	→		
		遊休ハウスの流動化を促進することで、担い手の規模拡大を支援します。 【完了】				手法の検討 →					
		成果・活動量	遊休ハウスの補修（面積：a）	目標値	―	36	100	50	50		
				実績値	45	42	47	67			
			遊休ハウスの移設（面積：a）	目標値	―	36	100	50	50		
				実績値	45	42	17	50			
			遊休ハウスの流動化件数	目標値	―	4	－	－	－		
				実績値	1	3	－	－	－		
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　農村整備課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
11	農業基盤整備の推進 安定した良質な用水による優良農地の確保と生産基盤の整備を図ります。 なお、他の制度事業を活用した農業基盤の整備についても、積極的に推進します。 【24年度完了】	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業（3地区）により、国営かんがい排水事業で大淀川左右岸地区に布設された幹線用水管から受益地までパイプラインを布設し、安定的な農業用水を各農地（水田・畑）に供給します。 堤内2期地区(H19～H22)、古城下地区(H20～H23)、村角地区(H21～H24) 【完了】				堤内2期地区 →				A	24年度において、計画地区3箇所の事業が完了しました。
							古城下地区 →				
								村角地区 →			
		成果・活動量	完了予定地区数	目標値	―	1	1	1	－		
				実績値	1	1	1	1	－		
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農商工連携室

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
12	農林水産業の6次産業化に向けた取り組み 農林水産業の6次産業化を推進し、農林漁業者の所得の向上を図るため、宮崎市内の農林水産物を加工し、販売しようとする市内の事業者に対し、加工に係る条件整備を支援します。	6次産業化に向けた経営計画づくりを支援します。					経営計画づくりの支援				A	農林水産業6次産業化支援事業は、6件の応募があり、全て採択されたが、その後1件が申請辞退となり、5件が機械施設の整備を行いました。 今後、これら事業実施者の具体的な商品開発、販路拡大を支援していきます。 ※成果・活動量は、6次産業化を進める上で必要な条件整備を支援する「農林水産業6次産業化支援事業」と直接関連する事項のみとしました。
		農林水産物の加工に必要となる機械施設等の整備を支援します。					機械施設等の整備に係る助成					
		成果・活動量	補助対象事業者数（累計）	目標値	―	―	5	10	15			
				実績値	―	―	6	11				
			商品アイテム数（累計）	目標値	―	―	5	10	15			
				実績値	―	―	6	11				
				目標値								
				実績値								

所管部課　：　子ども課・地域保健課、農商工連携室

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
13	乳幼児から始まる「みやざきっ子」食育推進事業 保護者やその家族など幅広く食育への関心を高め、地元食材の消費拡大と食育を推進していくため、保育所等において乳幼児への地元食材を使った食育を行うとともに、保護者に情報提供と食育支援を行います。 また、保育所の食育の取り組みを広く市民へ広げるために、情報提供や家庭や地域における食育活動の支援を行います。	モデル保育所に研修を行い、地元食材を用いた給食提供を行います。保護者に給食の内容の情報提供を行います。						事業の検討	モデル保育所への研修と給食提供		A	24年度は、保育園等を対象に食育研修を6回実施するとともに、研修内容を市のホームページで紹介し、乳幼児への食育の推進と地元食材の消費拡大に努めました。 今後とも、引き続き食育機会の充実を図るとともに、市民のニーズに応じた食育推進に取り組みます。
		広く市民に保育所での食育の取り組みをHPやレシピ集で紹介し、家庭での食育への関心を高めます。						事業の検討	HPでの報告 レシピ集の作成			
		保育所、NPO等の食育・地産地消の研修会等の活動を支援します。						事業の検討	食育活動の支援			
		家庭における食育を推進・支援するための食育教室を開催します。						事業の検討	食育教室の開催			
		成果・活動量	食育事業を実施した保育園の児童数	目標値	―	―	―	―	800	900		
				実績値	―	―	―	―	3,000			
			ホームページ等での紹介回数	目標値	―	―	―	―	2	2		
				実績値	―	―	―	―	1			
			「みやざき食財」活用食育推進事業を活用した団体数	目標値	―	―	―	―	3	4		
				実績値	―	―	―	―	3			
			食育教室への参加者数	目標値	―	―	―	―	350	450		
				実績値	―	―	―	―	738			

３－２　農林水産業の経営安定と所得向上

所管部課　：　農商工連携室・商業労政課
工業政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			（H21）	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
14	6次産業化の充実強化 農林水産物の安定供給に向けた生産体制の強化と徹底した商品化システムを構築し、県内外へアピールするとともに、みやざきブランドの一層の定着や農林水産業と加工産業との連携による所得向上を図ります。	①小学校における食農教室の開催や、保育所やNPO等を対象にした研修会を通した食育や地産地消を推進します。				→ 研修会等の実施				A	①西池小を対象に食農教室を2回開催するとともに、幼稚園（2箇所）が行う食育活動への支援を行いました。 ②宮崎の食材を使った料理コンテスト「ガチ旨グルメバトル」でグランプリを獲った「鶏のゆずこしょう焼きそば」を南九州ファミリーマートが商品化し、宮崎・鹿児島の約300店舗で2月の1か月間販売するとともに、宮崎の新ご当地グルメとして、2月から市内の飲食店で販売を開始しました。 ③宮崎の郷土料理「冷や汁」の特集冊子を作成し、市内で周年提供する店舗の紹介やPRを行いました。また、日本バーテンダー協会宮崎支部と連携し、本市発祥の日向夏を使った宮崎オリジナルカクテルを開発し、12月から市内の店舗で販売を開始しました。さらに、菓子の新商品開発に向け、宮崎菓子協会と連携し、試作品の開発を行いました。 ④みやざきどれ農産物の広報冊子「みやざき食財NOTE」を作成し、それを活用し、県内外でプロモーション活動を行いました。
		②宮崎ゆかりの食の専門家を招いて宮崎の食材を用いた料理コンテストを行い、宮崎の質の高い安全・安心な農林水産物の消費拡大や裾野の広い「食」に関する産業の活性化を図ります。				→ 料理ｺﾝﾃｽﾄの実施					
		③本市の良質な農林水産資源を活用した料理やカクテルを提供する店の紹介や菓子の新商品の開発などに取り組みます。				→ 料理の磨き上げやカクテル・菓子の開発、飲食店の紹介					
						→ 検討・試作・ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ・創出					
		④関係団体等と連携し、宮崎ゆかりの都市部在住者等のネットワークも活用しながら、都市部における宮崎の農林水産物やその加工品のPRを充実強化し、新規販路を開拓します。				→ プロモーション・商談等の実施					
		成果・活動量	①研修を実施した保育所、NPO等の数	目標値	－	－	－	3	4		
				実績値	－	－	－	3			
			②実際に料理を提供してくれる店舗の数	目標値	－	－	－	3	6		
				実績値	－	－	－	12			
			③提供する飲食店数（料理　累計）	目標値	－	－	－	5	10		
				実績値	－	－	－	17			
			③提供する飲食店数（カクテル　累計）	目標値	－	－	－	5	10		
				実績値	－	－	－	20			
			③試作品開発件数（菓子）	目標値	－	－	－	10	10		
				実績値	－	－	－	36			
			④プロモーション・商談等活動回数	目標値	－	－	－	8	8		
				実績値	－	－	－	14			

３ 市民の所得向上

３－３ 滞在型観光の構築と観光資源の再発見

所管部課 ： 観光課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	中国、韓国、台湾からの誘客の推進 みやざき観光コンベンション協会及び市観光協会と連携を図りながら、海外の旅行代理店、スポーツ団体、教育旅行関係者等を宮崎に招待し、宮崎の特色である「スポーツランド」や「自然」、「温泉」などをPRして、誘致を図るとともに、旅行客が興味を示す商品開発、素材の掘り起こしを検討します。	旅行関係者等の招待に係る経費の助成を行います。				経費の助成 →				B	23年に発生した新燃岳噴火や東日本大震災等による風評被害を払拭するために、観光関連団体等と協働で、韓国・台湾において緊急観光キャンペーンを実施するほか、宮崎市の観光情報を現地で入手できるよう、市観光協会HPを多言語化するなど観光入込み客を増やすために様々な取り組みを行ったが、前年度と比較し、大幅に減少する結果となりました。 今後もキーマンの招聘や、観光誘致セールスを行うほか、魅力ある観光素材を掘り起こし、観光関連団体と協力しながら、積極的な誘客に取り組んでいきます。 ※「招待者数」は、相手方の国により旅費等が異なりますので、予算の範囲内で適切に対応します。
		市観光協会HPの多言語化（韓国語、簡体字、繁体字）を図ります。【完了】				→ HP作成					
		誘致セールスを展開します。				→ 旅行代理店、観光関連団体等への訪問					
		成果・活動量	中国、韓国、台湾からの宿泊者数 【H24実績値はH23年1月～12月分】	目標値	―	50,000	52,000	76,000	78,000		
				実績値	48,394	35,352	74,402	50,327			
			招待者数	目標値	―	10	10	10	10		
				実績値	7	15	3	3			
			誘致セールス回数	目標値	―	―	5	5	5		
				実績値	―	―	7	2			
				目標値							
				実績値							

所管部課 ： 企画政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	青少年の国際交流を活用した誘客の推進 姉妹（友好）都市との青少年交流を始めとする国際交流を推進します。	訪問団派遣に係る渡航費用を助成します。				経費の助成 →				B	22年度から24年度にかけて、口蹄疫や東日本大震災の影響により、交流を中止または規模を縮小しました。 25年度以降、引き続き姉妹都市との青少年交流を始めとする国際交流を推進します。 ・H24受入 ◆韓国12(中学生)3(引率) 計15 ◆中国・米国 中止（東日本大震災の影響） ・H24派遣 ◆中国12(中学生)4(引率) 計16 ◆韓国11(中学生)3(引率) 計14
		受入時の宮崎滞在に係る経費（宿泊、歓迎会等）を助成します。				経費の助成 →					
		成果・活動量	青少年交流受入人数（韓国・中国・ﾊﾞｰｼﾞﾆｱﾋﾞｰﾁ市）	目標値	―	42	32	62	22		
				実績値	35	12	0	12			
			青少年交流派遣人数（韓国・中国）	目標値	―	45	27	24	22		
				実績値	20	0	12	23			
				目標値							
				実績値							

３－３ 滞在型観光の構築と観光資源の再発見

所管部課　：　公園緑地課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			（H21）	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	宮崎市フェニックス自然動物園等を活用した誘客の推進 老朽化した動物園をリニューアルし、市民の憩い、学習、レクリエーションの場を提供するとともに、適正な管理運営を指導することでフェニックス自然動物園やフローランテ宮崎の集客増のための魅力アップを図ります。	レストラン併設の管理棟やフラミンゴ会場等を改修します。				各会場等改修工事 →				A	宮崎市フェニックス自然動物園は、22年11月にレストラン併設管理棟がオープンしました。 フラミンゴショー会場については、23年9月に完成し、24年2月に新フラミンゴショーを開始しました。 また、プールについては24年度より3ヵ年かけてリニューアルに取り組むなど、順調に改修を進めています。 フローランテ宮崎は、23年より8月の夕涼みを「グルメとランタンナイト」として実施し、12月の「イルミネーション・フラワー・ガーデン」とともに魅力的な企画による集客増を図りました。 両施設とも、引き続き集客増のための魅力アップを図ります。
		フェニックス自然動物園やフローランテ宮崎を適正に管理運営します。				指定管理の運営指導 →					
		成果・活動量	動物園総入園者数	目標値	ー	320,000	330,000	350,000	350,000		
				実績値	339,945	259,588	309,386	326,074			
			フローランテ宮崎総入園者数	目標値	ー	300,000	320,000	330,000	340,000		
				実績値	314,098	291,198	359,607	357,819			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

３－３ 滞在型観光の構築と観光資源の再発見

所管部課 ： 観光課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	九州新幹線開業に伴う誘客の推進 平成23年春に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業することに伴い、主に中国方面（広島、岡山）からの誘客に取り組みます。また、食を切り口とした観光客が楽しめるイベントを創出します。	中国地方からの新たな観光客を呼び込むため、中国地方のエージェントの招聘やモニターツアーを実施します。【完了】				エージェント招聘及びモニターツアー実施				B	広島方面からのモニターツアーを実施する中で、アンケート等を実施し、参加者からの意見・提言の集約を行いました。 エージェント招聘については、ＪＲ九州が実施したデスティネーションキャンペーンのエキスカーションで観光素材のPRを行いました。 ２３年度から、家族で「観光」と「食」を楽しめるイベントとして、フローランテ宮崎で毎年開催されている「ランタン祭り」とタイアップし、宮崎の食材を利用した「みやざきグルメとランタンナイト」を開催したほか、九州新幹線を活用した商品造成やイベントを展開し、観光入込み客の増を図りました。 しかしながら、現在、九州新幹線を活用した観光客は熊本・鹿児島に流れる傾向にあり、様々な施策の効果が直接的な観光入込み客の増加につながっていないのが現状であります。 今後は、２５年度から教育旅行専用列車が運行されることから、教育旅行の誘致セールスの強化にさらに取り組んでいきます。
		上記事業の検討と再構築を行います。【完了】				検証と再構築					
		旅行代理店が九州新幹線開通に伴う商品造成に特典を付ける場合、経費の一部を助成します。【完了】				商品造成・販売					
		「ランタン祭り」とタイアップし、みやざきグルメを楽しむイベントを実施します。				イベントの構築・実施					
		九州新幹線を活用した教育旅行の誘致を図ります。						誘致セールス活動実施			
		成果・活動量	本市の観光客数（千人） 【H24実績値はH23年1月～12月分】	目標値	―	6,286	6,300	6,400	6,500		
				実績値	6,163	6,009	5,239	5,208			
			エージェント招聘数	目標値	―	10	―	―	―		
				実績値	0	52	―	―	―		
			モニターツアー参加者数	目標値	―	20	―	―	―		
				実績値	0	14	―	―	―		
			九州新幹線活用観光入込み客数 【H23実績値はH24年3月末見込み】	目標値	―	―	30,000	―	―		
				実績値	―	―	30,000	―	―		
			イベント来場者数	目標値	―	―	50,000	100,000	100,000		
				実績値	―	―	100,000	80,000			
				目標値							
				実績値							

３－３ 滞在型観光の構築と観光資源の再発見

所管部課　：　観光課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	青島観光の再生 青島再勢プロジェクトなど地域住民と協働して青島地域の活性化を図るとともに、必要なハード整備やマリンスポーツの推進を通して、新たな観光客層を呼び込み、かつての賑わいを取り戻します。	青島地域活性化基本計画の実現へ向けて、県等の関係機関・団体と協議を行います。					協議				A	県や地元団体等との協議と並行して、国民宿舎跡地の整備を24年度から着手しており、25年度完成予定です。 青島地域の観光地整備の一環として、松添通線等にブーゲンビリアを植栽するとともに、地元ボランティアが中心となり青島園地の環境整備を行うなど、観光地としての快適な空間の創出に努めました。 また、サーフィン大会への補助やマリンスポーツの体験プログラムを実施し、マリンスポーツによる誘客を図りました。 さらに、今年度は古事記編纂1300年記念事業も展開し、神話の舞台となっている青島の観光客増につながりました。
		国民宿舎跡地の整備を行います。						実施設計	整備			
		道の駅フェニックスや参道周辺等の整備を行います。					青島地域の観光地の整備					
		マリンスポーツの推進による誘客を進めます。					マリンスポーツによる誘客					
		成果・活動量	青島地区の観光客数（人） 【H24実績値はH24年1月～12月分の暫定値】	目標値	ー	760,000	767,000	774,000	781,000			
				実績値	779,973	706,550	645,190	830,000				
				目標値								
				実績値								
				目標値								
				実績値								

３－３ 滞在型観光の構築と観光資源の再発見

所管部課　：　景観課・観光課・農政企画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
6	ガーデンシティ・みやざき花回遊エリア（スポット）づくり 「宮崎市版・365日誕生花」の情報や、「ハートをイメージした花、花木による花壇スポット」を「花回遊マップ」に反映させ、市内宿泊施設等に配布することで、観光客に特徴的な花の宮崎をアピールする。	誕生花やハート形の草花による新たなスポットづくりに取り組みます。						検討	スポットづくり	B	「宮崎市版365日誕生花」を選定したことで、誕生花を活用した花壇等の検討を行っており、これを反映させたマップが平成25年6月に完成予定です。 青島地域の県道沿いの事業所などの敷地にブーゲンビリアのプランターを19基設置し、彩りのある空間整備を行いました。 景観農業振興地域整備計画の策定に取り組み予定の2地区（和石、一里山地区）に補助金を交付し、先進地視察研修や役員会の支援を実施しました。
		花回遊マップを作製し、旅行業者や宿泊施設等に配布します。					検討	作成	配布		
		青島地域の県道沿いの事業所や民家の敷地などにブーゲンビリアのプランターを設置します。					検討	設置			
		モデル的な農村景観を保全・創出する地域の取り組みを支援します。					検討	取り組み支援			
		成果・活動量	花回遊スポット整備箇所数	目標値	―	―	―	―	5		
				実績値	―	―	―	―			
			花回遊マップ発行部数	目標値	―	―	―	5,000	5,000		
				実績値	―	―	―	0			
			ブーゲンビリアプランター設置数	目標値	―	―	―	16	16		
				実績値	―	―	―	19			
			景観農業振興地域整備計画の策定に取組む地区	目標値	―	―	―	2	2		
				実績値	―	―	―	2			

３－３ 滞在型観光の構築と観光資源の再発見

所管部課 ： 観光課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
7	古事記編纂1300年記念事業 2012年は、古事記編纂1300年という歴史的な節目であることから、古代より様々な神話が残る宮崎を「神話のふるさと宮崎」として、その魅力を全国に発信するとともに、神話を観光素材として醸成し、観光客の誘客を図ります。	神話観光ボランティアガイドの育成、サービスの拡充を図ります。				ガイド設置・神話案内板設置箇所の増				A	宮崎神宮大祭までの10日間を「神武さまウィーク」と銘打って、浅野温子による読み語りや神々のパレードなど様々な事業を展開し、県内外に「神話のふるさと宮崎」のPR等を図りました。 神話・観光ガイドボランティアの常駐場所を2ヶ所から4ヶ所に増設するとともに、日向神話伝承地を巡るワンコインバスツアーにガイドボランティアを帯同させ、ホスピタリティの充実に努めました。 「神話のふるさと」バナーを作成し、橘橋や橘通りに掲示し、古事記編纂1300年の機運醸成を図りました。 旅行代理店が宮崎の神話をテーマとした旅行商品に造成する際の特典に助成を行うことにより、観光客の誘客を図りました。 スマートフォン専用の「神コレ」アプリを開発し、神話スポットの周遊促進を図りました。 今後は、「神話」と「食・スポーツ」を結び付けた取り組みによる誘客を図っていきます。
		情報端末機を活用した誘客や情報発信を行います。				アプリ事業開始・撮影ポイントの構築					
		効果的な媒体を活用し、日向神話を国内外に発信します。				雑誌社とのタイアップ・神話HP作成					
		二次交通の強化を図り、観光客の利便性を図ります。				ワンコインバスツアーへのガイド派遣等					
		旅行代理店等が宮崎の神話をテーマにした旅行商品を造成する際の特典に対して助成を行います。				経費の助成					
		成果・活動量	本市の観光客数（千人） 【H24実績値はH23年1月～12月分】	目標値	ー	6,286	6,300	6,400	6,500		
				実績値	6,163	6,009	5,239	5,208			
			宮崎神宮、青島神社来訪者（千人） 【H24実績値はH24年1月～12月分】	目標値	ー	ー	ー	1,200	1,300		
				実績値	1,330	1,210	1,156	1,351			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

３－３　滞在型観光の構築と観光資源の再発見

所管部課　：　企画政策課　文化スポーツ課　観光課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				（H21）	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
8	スポーツと医療・健康を融合させた新たな魅力づくり スポーツキャンプや各種大会等の誘致の推進と観光客の誘客に向け、産学官の連携を生かした受け入れ体制づくりに取り組むなど、スポーツと医療・健康を融合させた新たな魅力の創出により、滞在型観光を積極的に推進します。	スポーツメディカルについて関係機関と協議します。					→関係機関との協議				A	スポーツドクター派遣初年度となる24年度は、市主催事業であるグランドベテランソフトテニス大会、宮崎市地区対抗駅伝大会、NECバレーボール教室に派遣し、効果の検証を行いました。この検証結果を踏まえ、次年度以降の派遣事業について検討していきます。また、産学官連携により、スポーツメディカルプログラムの構築により、スポーツランドみやざきとしての新たな魅力を創出します。宮崎市の主催事業であるアイビースプリングベースボールリーグ（6日間）にも派遣予定でしたが、効果を検証する中でスポーツドクターの派遣に適さないこと、相手側からの需要がないことを踏まえ、協議の結果、NECバレーボール教室(1日間)への派遣に振り替えました。その結果、大会参加者数が目標値を下回っています。
		スポーツメディカルに関する具体的なプログラムを検討します。						→プログラムの検討				
		市主催のスポーツ大会にスポーツドクター等を派遣します。						→スポーツドクター等の派遣				
		スポーツメディカルについてアピール・広報するとともに各種大会・合宿の誘致・開催を進めます。						→

３ 市民の所得向上

３－４ 魅力ある商店街の振興と中心市街地のにぎわい創出

所管部課 ： 都市計画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	宮崎駅西口におけるにぎわいの創出 JR宮崎駅西口の市有地及び県有地において、民間の資金・企画力を活用して、公共と民間の複合的な拠点施設を整備するとともに、公設バスターミナルを整備して、中心市街地の活性化及び交通結節機能の強化を図ります。 【23年度完了】	民間事業者が公有地を借地して、複合拠点施設を建設・運営します。【完了】				→ 民間拠点施設の建設				A	公設バスターミナルを23年10月1日に供用を開始しました。また、民間事業者による複合拠点施設（宮崎グリーンスフィア壱番館　愛称：キテン）も11月3日にグランドオープンしました。
		公設バスターミナルを整備します。【完了】				→ バスターミナルの整備					
		成果・活動量	民間拠点の施設整備数	目標値	―	―	1	―	―		
				実績値	0	―	1	―	―		
			公設バスターミナルの整備数	目標値	―	―	1	―	―		
				実績値	0	―	1	―	―		
				目標値							
				実績値							

所管部課 ： 工業政策課・農商工連携室

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	農商工連携による地場産業の振興（宮崎版アメ横）＜再掲＞ 中小企業者や農業者が産業の壁を超えて連携し、お互いのノウハウや技術等を活用することで、両者の持つ強みを発揮した新商品の開発や販路開拓等を促進します。	中小企業者や農業者を対象にしたセミナーを開催します。【完了】				→ セミナーの開催				A	関係団体と連携し、農商工連携セミナーとして、研修やグループワーキングを実施しました。 また、「食のブランド活性化in街中事業」を活用し、みやざき緑竹会や女性農業者グループ、佐土原ナス研究会が「街市」へ出店するのを支援するとともに、商工会議所主催で初めて開催された「みやざき産業祭」への出展を支援するなど、農業者と商業者との連携推進による地場産品のPR活動やブランド確立などに取組みました。 一方、地域雇用創造協議会の実施する雇用創出のためのセミナーの充実・強化も図るなど、引続き産業の垣根を越えた連携推進に取組みます。
		農商工混在のグループで、それぞれの課題解決について研究します。【完了】				→ 課題解決の研究					
		中心市街地におけるイベント等を通して、農林水産業者と商工業者の連携活動を推進します。					→ イベント等の実施				
		成果・活動量	セミナー参加者数	目標値	―	150	200	―	―		
				実績値	210	170	244	―	―		
			セミナー開催数	目標値	―	5	5	―	―		
				実績値	6	7	3	―	―		
			連携の実績数	目標値	―	3	4	―	―		
				実績値	2	2	5	―	―		
			商工業者との連携による地場産品PR回数	目標値	―	―	4	4	4		
				実績値	―	―	5	7			

３－４　魅力ある商店街の振興と中心市街地のにぎわい創出

所管部課　：　商業労政課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	空き店舗を活用した活性化の推進（宮崎版アメ横） バランスのとれた商店街が形成されるように、中心市街地の空き店舗への出店を支援し、解消を図ります。	「ふるさと雇用再生特別基金」を活用し、テナントリーシングと研修事業を委託します。【完了】				委託				A	ふるさと雇用再生特別基金については、22年9月から宮崎商工会議所に「空き店舗テナントリーシング推進事業」を委託し、既存店舗と空き店舗の現況調査を行うとともに、出店者支援を行いました。 奨励金については、22年度、14人の出店者に交付しました。23年度は、新規事業「空き店舗解消促進事業」の中で、対象となる商店街の空き店舗に集中（特に1階部分）して支援を行い、8人の出店者に交付しました。引続き24年度は、7人の出店者に交付しました。特に長年の懸案であった若草通り角地の空き店舗に飲食店がオープンするなど、大きな動きがみられました。 今後とも引き続き、商店街が活性化するために取り組む活動等について各商店街や関係機関と協議を行っていきます。
		中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、奨励金の交付を行います。				商工会議所に対する補助	出店者に対する補助				
		「宮崎版アメ横」について、商店街や関係機関と協議を行います。				商店街・関係機関と協議、検討					
		成果・活動量	出店の相談件数	目標値	―	50	100	―	―		
				実績値	0	81	80	―	―		
			出店に対する奨励金の支出件数 （H23以降は1階の空き店舗への出店のみ）	目標値	―	13	5	5	5		
				実績値	7	14	8	7			
			中心市街地の空き店舗率（%） （宮崎商工会議所調べ　毎年12月分）	目標値	―	16.0	16.0	15.0	15.0		
				実績値	18.2	20.2	19.1	19.8			
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　景観課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	花のあふれるまちづくりの推進 中心市街地において花のあふれるまちづくりを推進することで、まちなか居住環境の向上を目指し、中心市街地活性化基本計画の基本理念である、「夢を育むみんなの街～橘通りを中心とした公園化」の浸透を図ります。	「まちんなかフラワーパーク」の活動を支援します。				植栽活動				A	24年度は、4月と10月に橘通りを中心に「まちんなかフラワーパーク」の花植栽ボランティア活動を実施しました。 24年度から市の補助（花苗提供の一部）はなくなりましたが、企業広告花壇による収入で実施し、花のあふれるまちづくりを推進します。
		成果・活動量	参加ボランティア数	目標値	―	600	600	600	600		
				実績値	600	500	600	600			
			植栽活動の実施回数	目標値	―	2	2	2	2		
				実績値	2	2	2	2			
				目標値							
				実績値							

３－４　魅力ある商店街の振興と中心市街地のにぎわい創出

所管部課　：　都市計画課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	中心市街地循環バスの導入に向けた取組み JR宮崎駅西口の公設バスターミナル整備と連携し、中心市街地の回遊性向上を図るための試行運行及び調査を行うことで、中心市街地における循環バスの導入に向けた課題や採算性、有効性を検証します。 【23年度完了】	調査検討委員会を設置し、アンケート調査を行うなど、循環バスの調査検討を行います。【完了】				→調査検討委員会の開催、アンケート調査等				A	24年度に予定していた試行運行を、23年度に前倒しして、宮崎商工会議所が実施主体の「まちなか観光周遊バス試験運行事業」に支援をしました。 調査検討については、宮崎商工会議所が「まちなか観光周遊バス試験運行事業実行委員会」を設置し、ルート等の検討や試験運行の中でアンケート等を実施しました。
		調査委員会の検討結果を踏まえて、試行運行を実施します。【完了】				→試行運行					
		成果・活動量	調査検討委員会の開催回数	目標値	―	3	4	5	―		
				実績値	0	4	3	―	―		
			試行運行の実施回数	目標値	―	―	―	1	―		
				実績値	0	―	1	―	―		
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　商業労政課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
6	中心市街地のにぎわいの創出 （宮崎版アメ横） 中心市街地の空き店舗等を有効に活用して、魅力的な商品や市内・外の特産品が立ち並ぶ商店が集中し、賑わいと活気のある商店街の実現を図ります。	「次期中心市街地活性化基本計画」を策定します。【完了】				→検討	策定			A	【次期計画】 国の認定計画ではなく市独自の計画として「中心市街地まちづくり推進プラン」を策定しました。なお、策定にあたっては、「中心市街地地区別ワークショップ」や「商店街エリアマネジメント推進会議」を開催し、地域住民や地権者、事業者など幅広い関係者の意見集約を行いました。 【宮崎版アメ横】 取り組みの一つとして、一番街で実施されている「街市」を宮崎駅前商店街まで拡大するため、商店街や関係機関と協議を行いました。10月及び3月に「大街市祭」として開催し、4商店街全ての観測ポイントで歩行者通行量が増加するなど、大きな賑わいが創出されました。
		「宮崎版アメ横」について、商店街や関係機関と協議を行います。				→商店街・関係機関と協議、検討					
		成果・活動量	宮崎版アメ横の基本的な方針	目標値	―	―	1	―	―		
				実績値	―	―	1	―	―		
			次期中心市街地活性化基本計画の策定	目標値	―	―	―	1	―		
				実績値	―	―	―	1	―		
			4商店街連携による大規模イベントの開催回数	目標値	―	―	―	1	1		
				実績値	―	―	―	2			
			オープンカフェ等として活用できる休憩所の設置箇所数	目標値	―	―	―	―	4		
				実績値	―	―	―	―			

４ 市民のための自然環境保全

４－１ 自然を生かした環境にやさしいまちづくり（宮崎エコタウン）

所管部課 ： 森林水産課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	公共施設における天然ガス活用の推進 資源の有効活用及び温暖化防止のため、自然休養村センターにおいて温泉水と同時に湧出し大気放散している天然ガスを発電燃料に利用するシステムの導入を図ります。	天然ガスを利用したコージェネレーションシステムを導入し、温室効果ガスの排出削減を図ります。				→ 導入工事	→ 温室効果ガスの排出削減			A	22年度に天然ガスを利用したコージェネレーションシステムを整備し、23年度からシステムの稼動を開始しました。 しかしながら、23年度は落雷による故障があったため目標達成ができなかったが、24年度は落雷対策を講じた結果目標を達成しました。今後もシステムの安定稼動に努めます。
		成果・活動量	天然ガスの利用率（%）	目標値	ー	ー	68	68	68		
				実績値	38	ー	57	77			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

４－１　自然を生かした環境にやさしいまちづくり（宮崎エコタウン）

所管部課　：　環境保全課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標				(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	**太陽エネルギー活用の推進** 宮崎エコタウン実現のため、公共施設に太陽光発電設備を整備することについて、基本的な方針を定めるとともに、住宅及び事業所等への太陽光発電システムの設置や、住宅への太陽熱利用システムの設置を推進します。また、基本方針にもとづき、補助金等を利用した公共施設における太陽光発電システムの設置推進を図ります。	公共施設における太陽光発電施設整備の基本的な方針について検討し、全庁的な推進を図ります。					→設置に関する基本的な考え方の検討	→全庁的な推進			A	23年度に引き続き、24年度も太陽光エネルギーの活用のため、住宅及び事業所等に対する太陽光発電システムの設置費の一部補助を実施しましたが、受付開始から2ヶ月で予算額に達したことからも、住宅用の需要が高まっていることが伺えました。 また、24年度からは太陽熱エネルギーの活用を図るため、住宅に対する太陽熱利用システムの設置費の一部補助を実施しました。 25年度からは、需要が増加している住宅用太陽光発電システムに重点を置くため、事業者用の補助を廃止し、補助対象件数を増やすとともに、市産材使用新築木造住宅に設置する場合の上乗せ補助を新たに実施します。 公共施設における太陽光発電システムの設置については、「基本方針」に基づき、全庁的な推進を図ります。
		住宅や事業所等への太陽光発電システム設置の推進を図ります。					→設置の推進					
		公共施設に太陽光発電システムを設置します。						→設置の推進				
		住宅への太陽熱利用システム設置の推進を図ります。							→設置の推進			
		成果・活動量	住宅への太陽光発電システムの設置補助件数	目標値	―		500	548	450	570		
				実績値	515		548	547	487			
			住宅への太陽光発電システムの設置補助対象設置合計出力[kw]	目標値	―		―	2,300	1,935	2,600		
				実績値	2,009		2,297	2,359	2,308			
			事業所等への太陽光発電システムの設置補助件数	目標値	―		10	13	12	―		
				実績値	0		13	12	9	―		
			公共施設への太陽光発電システムの導入件数	目標値	―		―	2	1	1		
				実績値	―		6	2	0			
			住宅への太陽熱利用システムの設置補助件数	目標値	―		―	―	105	55		
				実績値	―		―	―	45			

４－１　自然を生かした環境にやさしいまちづくり（宮崎エコタウン）

所管部課　：　環境保全課・環境業務課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標 (H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	**宮崎エコタウンの環境デザインの推進** 基本的な環境活動に向けた市民や事業所等との協働での取組を推進するとともに、恵まれた自然環境（既存の地域資源）の有効活用に関する方向性を示すことで宮崎エコタウンの推進につながる施策の検討を図ります。	太陽や水といった自然の恵み、既存の地域資源等を活かした環境デザイン（今後の市独自の取組に向けた環境施策のあり方）を検討します。	施策の検討	施策の推進			B	エコアクション認証制度については、24年度の目標値を達成することができませんでした。これは、認定事業所へのメリットが少ないことが原因のひとつと考えています。 今後は、認定事業所をPRするためのマークの作成や効果的な広報について検討し、環境に配慮した事業所の取組みを支援していきます。 地球温暖化対策協議会との協働について、24年度は協議会会員団体でノーマイカーデーや夏季の節電などに取り組み、環境問題に対する市民の意識向上を図りました。 環境学習プログラムについては年々実施数を増やしているものの、24年度も目標値とは大幅な開きがありました。今年度は実施数増を目指し教育委員会と連携を図ってきましたので、今後も引き続き関係団体と連携を深めながら環境学習に関する取り組みを推進します。また、25年度の目標値について新4年生の児童数から学級数を精査し、見直しを行いました。 資源物集団回収については登録団体数が目標値の三分の一程度でした。原因としては周知を徹底できなかったことが挙げられるため、地区での分別説明会等の機会を活かし、より一層の周知・啓発に努めることで、登録団体の増加を目指します。
		みやざきエコアクション認証制度の見直しをすることにより取組事業所を増やし、地球温暖化の防止の取組を広めます。	規格の見直し	新規格での実施				
		教育機関・事業者・NPO団体等との協働策を検討します。	協働策の検討	協働策の実施				
		環境に配慮した生活の必要性を理解し、自分にできることを実践する子どもを増やすことで、ごみの減量やリサイクルにつなげます。	実施団体の育成・買い物ゲームの開催					
		市民の手による資源物のリサイクル活動により、ごみの減量化及びリサイクルに対する市民意識の向上と地域コミュニティの活性化を図ります。			資源物集団回収の実施			

成果・活動量				H22	H23	H24	H25
	みやざきエコアクション認証制度に係る新規認証事業所数	目標値	―	20	31	31	31
		実績値	14	23	31	21	
	地球温暖化対策協議会等における協働策の検討	目標値	―	5	5	5	3
		実績値	2	3	10	1	
	環境学習プログラム「買い物ゲーム」の開催	目標値	―	40	112	117	114
		実績値	0	40	54	62	
	資源物集団回収の登録団体数	目標値	―	―	―	300	330
		実績値	―	―	―	108	

４－１　自然を生かした環境にやさしいまちづくり（宮崎エコタウン）

所管部課　：　農村整備課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	農地・水・環境保全向上対策の推進 土地改良施設の適切な管理、農村環境の保全に向けて、地域活動組織･活動内容の強化を図ります。	効果・課題を検証し、活動組織及び活動内容等の強化を図ります。				1期事業（H19～H23） 効果等の検証と活動組織等の強化		2期事業（H24～H28）		A	19年度から農地・水保全管理事業が開始され、23年度までの5年間で事業が完了し、77地区が取り組みを行いました。 24年度から28年度までの5年間で事業が2期目を迎え、70地区が取り組みました。 （継続68、新規2） 今後も目標値に向けて新規地区が増加する見込みであり、さらなる農村環境向上に努めます。 また、23年度から拡充された向上活動により、老朽化が進む農業用用排水路等の長寿命化のための補修・更新を図りました。
		地域一体となった活動により農村環境の向上を図ります。				1期事業（H19～H23） 自主的活動		2期事業（H24～H28）			
		成果・活動量	景観形成取組地区数	目標値	ー	77	77	77	77		
				実績値	77	77	77	70			
			土地改良施設適正管理取組地区数	目標値	ー	77	77	77	77		
				実績値	77	77	77	70			
			取り組み面積（ha）	目標値	ー	3,455	3,450	3,450	3,450		
				実績値	3,455	3,450	3,450	3,240			
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　森林水産課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	森林の育成活用 市有林の適正な施業実施と自然休養林等を活用した森林とのふれあいを推進するため、森林を育成し、森林の活用を図ります。	林齢に応じた適正な森林整備を行うとともに、標準伐期を過ぎた市有林は、地域の状況にあった伐採を推進します。				適正な森林整備の実施（主伐・植林・下刈）				A	市有林については24年度に瓜生野地区及び清武地区で間伐等を実施しました。今後も施業計画に従い適正な管理に努めます。 宮崎自然休養林の利用者は目標値を上回りました。また椿山森林公園の利用者については前年度を上回りました。今後も施設のPRに力を入れ、適正な維持管理に努めていきます。
		自然休養林、椿山森林公園において、遊歩道や登山道、椿園の適正な維持管理を計画的に進め、市民の憩いの空間として育成活用します。				遊歩道・登山道・椿園の適正な維持管理					
		成果・活動量	森林整備面積（ha）	目標値	ー	25	35	35	35		
				実績値	24	35	38	36			
			宮崎自然休養林利用者	目標値	ー	100,000	100,000	100,000	100,000		
				実績値	91,000	91,268	112,780	109,260			
			椿山森林公園利用者	目標値	ー	30,000	30,000	30,000	30,000		
				実績値	22,000	19,076	19,444	19,655			
				目標値							
				実績値							

４ 市民のための自然環境保全

４－２ 安全・安心で、安定した水資源の確保と家庭排水対策の推進

所管部課 ： 水道施設課・水道整備課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	旧3町域との水道連絡管の整備 新市建設計画実施計画に基づき、旧3町域（佐土原・田野・高岡）との水道連絡管の整備を行い、安定した水の供給を図ります。 高岡町域への連絡管整備約7Kmは平成21年度に完了しており、田野町域への連絡管整備約11.6kmについては平成23年度に完了しています。佐土原町域への連絡管整備約15kmについても、平成24年度に完了しました。 【24年度完了】	平成24年度までに佐土原町域への連絡管整備約15Kmを完了します。【完了】				→ 連絡管の整備			給水開始	A	佐土原町域については、24年度約2Kmを整備し、 施設については、下北方中継ポンプ所及び池内配水池を築造し、連絡管整備を完了しました。
		平成23年度までに田野町域への連絡管整備約11.6Kmを完了します。【完了】				→ 連絡管の整備		給水開始			
		成果・活動量	佐土原町域連絡管整備事業進捗率（%）	目標値	ー	48	73	100	ー		
				実績値	34	46	74	100	ー		
			田野町域連絡管整備事業進捗率（%）	目標値	ー	76	100	ー	ー		
				実績値	56	74	100	ー	ー		
				目標値							
				実績値							

４－２　安全・安心で、安定した水資源の確保と家庭排水対策の推進

所管部課　：　環境保全課・廃棄物対策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標 (H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	河川浄化に向けた取組み（上流域との連携・森林育成・家庭排水対策） 大淀川を始めとする水源の浄化対策のため、上流域との連携も密にしながら、森林の保全対策とともに、水質保全のための家庭排水対策に努めます。	「宮崎市河川をきれいにする条例」を背景に、河川浄化意識の啓発を中心とした河川浄化対策を講じます。	→河川浄化等推進協議会の支援、浄化等推進員による河川パトロール				B	24年8月、大淀川流域自治体の首長が一同に会し、河川浄化に向けた対策を協議するための大淀川サミット会談を行い、その模様をテレビ放映し、広く流域住民への河川浄化の啓発を図りました。 合同河川パトロールの採水地点数は、24年度に1ヵ所増やしましたが、今後も目標値の達成へ向け、河川浄化推進協議会と協議を行っていきます。 公設合併処理浄化槽事業については、23年度は対象世帯の全戸訪問を行うなど啓発を強化し、24年度も引き続き自治区単位で個別訪問を実施し啓発に取り組みました。 【理由】 景気低迷によるほか、対象区域が周辺部であるため、高齢者の世帯が多く、必要性は理解されても公設合併処理浄化槽の設置には至らない状況があります。 浄化槽法11条検査については、受検案内の文書発送及び市広報でのPRによって、徐々に浸透しており、概ね目標に近い推移ですので、引き続き周知に努めます。
		国、県、流域市町等、関係行政機関との連携を密にし、共同で住民意識啓発事業を行います。	→大防協、清防協及び大淀川サミットへ参加					
		公設合併処理浄化槽事業を推進します。	→公設合併処理浄化槽事業の推進					
		浄化槽管理者に対して、浄化槽法で義務付けされている保守点検、清掃の実施及び法定検査の受検について啓発・指導を行います。	→浄化槽管理者への啓発・指導					

成果・活動量				H22	H23	H24	H25
	BODで5mg/L以下の合同河川パトロール地点割合（%）	目標値	ー	98	98	98	98
		実績値	98	98	98	99	
	住民参加の合同河川パトロールの採水地点数	目標値	ー	90	90	90	90
		実績値	88	88	88	89	
	公設合併処理浄化槽設置基数	目標値	ー	500	500	250	250
		実績値	55	131	179	143	
	浄化槽法第11条検査受検率の向上（%）	目標値	ー	40	50	50	60
		実績値	33	26	47	50	

５ 市民のための市役所改革

５－１ 市民目線の信頼される市役所づくり

所管部課 ： 秘書課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	市民目線の市政運営 （ふれあいトーク・市長ミーティング） 合併特例区・地域自治区ごとに「ふれあいトーク」を開催します。 これらの事業を通して、各地域等におけるまちづくりの課題等について地域総力戦で解決するための「きっかけ」とします。 具体的には、地域における課題等の解決に必要な人的資源の発掘や新たな発見、解決に向けた「アクション」につなげるものとします。 この他にも、事業者や市民活動団体等との意見交換を積極的に行います。	まちづくり意見交換会「ふれあいトーク」を開催します。				ふれあいトークの開催				A	ふれあいトークについては、22年度から全ての地域自治区及び合併特例区で実施しています。 24年度も全ての地域自治区及び合併特例区で実施しました。 市長ミーティングについては、地区体育会等や消防団との「みやざきアイアイミーティング」を開催し、職員を対象とした「オフィスホット！ミーティング」も実施しました。
		市長ミーティングを開催します。					市長ミーティングの開催				
		成果・活動量	ふれあいトークの開催回数 【H21実績値は「まちづくり懇談会」の実績】	目標値	―	21	21	21	21		
				実績値	10	24	21	21			
			市長ミーティングの開催回数 【みやざきｱｲｱｲﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・ｵﾌｨｽﾎｯﾄ！ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ】	目標値	―	―	15	15	15		
				実績値	―	―	15	15			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

所管部課 ： 人事課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	職員定数等の適正化 合併によるスケールメリットを生かして、組織の見直しを行い、管理職の20%削減を目指します。 また、業務量に見合った職員数の適正化を図ります。 なお、あわせて、市長以下特別職を30%削減し、行財政改革を推進します。	事務分担調査や各課ヒアリングを活用した組織の見直しなどを行い、職員数の適正化を図ります。				定員適正化の推進				A	職員定数については、採用抑制や事務の見直しなどにより、計画どおり適正化を図ることができました。 管理職の削減については、組織の見直し等を行い、目標を達成しました。 常勤特別職の削減については、報酬の削減により、目標を達成しました。 （旧3町の地域担当副市長は、合併特例区終了に伴い、22年12月をもって退職）
		管理職を４年間で20%削減します。【完了】				削減の実施					
		常勤特別職を30%削減します。【完了】									
		成果・活動量	第五次宮崎市定員適正化計画（人）※毎年4月1日現在	目標値	―	2,663	2,636	2,604	2,567		
				実績値	2,699	2,663	2,624	2,599	2,562		
			管理職の削減数（人）	目標値	―	―	10	7	―		
				実績値	11	10	12	8	―		
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

５－１　市民目線の信頼される市役所づくり

所管部課　：　秘書課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	「市政への提言」制度の活用 市ホームページ上で市政への提言を試行的に受け付け、「市民の声」を市政に反映します。市民に市政への参加を促すことで、住民主体のまちづくりを推進します。また、市民から寄せられた提言が市政に反映されることで、市民が市政に関心を持つことにつながります。	「市政への提言」を試行的に運用します。【完了】				→ 試行運用				B	24年度は27件の提言を受理し、提言者（匿名除く）へ文書で回答した後に市ホームページでも概要を公表しました。 また、一部の提言については採択に向けて検討を進めていますが、実績値と目標値に差があるため、引き続き提言件数増加に向けて取り組みます。
		「市政への提言」の運用を開始します。					→ 本格運用				
		成果・活動量	市政への提言検討会の開催回数	目標値	ー	3	3	3	3		
				実績値	0	2	2	2			
			提言の件数	目標値	ー	50	50	50	50		
				実績値	0	31	25	27			
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　監査事務局

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	監査機能の充実強化 市政に対する信頼をさらに高めるために、内部統制の観点を取り入れ、監査機能の充実強化策を図ります。	監査マニュアルを充実させ、徹底した試査主義による監査を行い、監査保証の確保に努めます。				→ 監査保証の確保				A	監査マニュアルの充実と徹底した試査による監査を行い、監査の実効性の確保に努めました。 また、「監査事務の手引き」等に基づく職場研修や外部研修などにより、監査能力の向上に努めました。 さらに、監査結果の公表にあたり、市民目線で、適時、ホームページを更新し、最新の情報を提供するとともに、市広報紙2月号においても分かり易く広報を行いました。
		実務研修の充実を図り、事務局職員の監査能力向上を図ります。				→ 実務研修の実施					
		監査結果を市民目線に立った方法でわかりやすく公表します。				→ 監査結果の公表					
		監査結果を内部統制の観点から庁内の事務改善に反映させます。				→ 事務改善への反映					
		成果・活動量	監査の実施箇所数	目標値	ー	ー	110	91	104		
				実績値	ー	ー	110	92			
			監査実務研修の実施回数（延べ回数）	目標値	ー	ー	25	25	25		
				実績値	ー	ー	37	78			
			監査実務研修の受講者数（延べ人数）	目標値	ー	ー	100	100	100		
				実績値	ー	ー	122	155			
			監査結果の公表及びホームページの更新回数	目標値	ー	ー	6	6	12		
				実績値	ー	ー	17	17			

５ 市民のための市役所改革

５－２ 市民の視点に立った透明性の高い行政経営

所管部課 ： 財政課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	**中期財政計画の見直しと市債残高の圧縮** 中期財政計画に基づき、普通会計の市債残高の圧縮を図ります。 単年度の新規の市債発行額を元金償還額以下に抑制し、元金ベースでのプライマリーバランスの黒字化を堅持します。 平成22年度に計画の見直しを行い、新たな目標を設定することで将来の公債費の抑制が図られ、健全財政の確立につながります。 ※前年度決算を踏まえ、毎年度、財政収支をローリング（見直し）するため、目標値、実績値は変動します。	中期財政計画の見直しを図ります。			中期財政計画の見直し（新たな目標の設定）	→	→ 数値の検証	→ 数値の検証	→ 数値の検証	A	22年10月に宮崎市中期財政計画を見直し、3つの財政目標（市債残高の圧縮、基金残高の確保、経費の節減）を設定しました。 今後は、同計画に基づいて財政運営を進め、理想とする財政の姿「自立した、持続可能な財政」の実現を目指します。 同計画の期間は、22年度から26年度までの5カ年で、対象は一般会計や公営住宅建設資金特別会計など6会計で構成する普通会計です。 25年度当初予算編成において、3つの目標値はいずれも達成しました。
						新中期財政計画策定					
		成果・活動量	普通会計の市債の残高（億円） ※決算ベースの目標値	目標値	ー	2,119	2,086	2,057	2,023		
				実績値	2,139	2,119	2,086	※決算時公表			
			財政5基金の残高（億円） ※決算ベースの目標値	目標値	ー	244	258	246	233		
				実績値	252	244	258	※決算時公表			
			行政運営経費（一般財源ベース）（億円） ※予算ベースの目標値	目標値	ー	448	442	436	418		
				実績値	475	448	442	436	418		
				目標値							
				実績値							

所管部課 ： 契約課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
2	**指名競争入札の堅持と地域性を考慮した指名の徹底** 公平公正な指名競争入札により、地元企業の育成を促すために、指名競争入札を堅持し、地域性を考慮した指名選定を行います。 また、各課執行の小額随意契約については、その手続きが適正なものとなっているかのチェック機能を確立します。 平成24年3月より、業種・ランクごとに、段階的に電子入札を導入し、入札参加者の利便性の向上を図るとともに、職員の入札に係る事務負担を縮減し事務の効率化を図ります。	公平公正な指名競争入札により、地元企業の育成を促します。				→ 指名競争入札による地元企業の育成				A	地元業者の保護・育成を念頭に置き、6千万円未満の建設工事は指名競争入札とし、施工業種の希望順位を基本に、経営及び信用状況、技術的適性、地理的条件等を踏まえ、公平公正に選定しました。 また,各課執行分の小額随意契約については、毎月の報告書提出を義務付け、業者選定状況を確認し、庁内で共有することにより、発注の偏りが生じないよう努めました。 電子入札については、段階的に対象範囲を拡げ、電子入札実施率50%の目標を達成しました。
		各課執行分についてのチェック機能を確立します。【完了】				→ チェック機能の確立					
		電子入札を段階的に導入し、入札参加者の利便性の向上と職員の事務の効率化を進めます。					→ 電子入札システムの段階的な導入				
		成果・活動量	各課執行分の報告率（%）	目標値	ー	100	100	100	100		
				実績値	ー	100	100	100			
			電子入札対象案件の電子入札実施率（%）	目標値	ー	ー	ー	50	80		
				実績値	ー	ー	ー	51			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

５－２　市民の視点に立った透明性の高い行政経営

所管部課　：　人事課・財政課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
3	事務事業の外部評価 本市が行う事務事業について、透明性、客観性の向上を図るため、公開の場において、その必要性、有効性、効率性等を外部の視点を活用して点検・議論し、提言を行います。 併せて、その評価結果を今後の予算編成に生かします。 【23年度完了】	外部の視点による事務事業の点検・評価を行います。【完了】				→ 外部評価の実施	→			A	22・23年度に「事務事業の外部評価」を実施し、学識経験者や市民からなる判定人が、108事業（2年間合計）の評価を行いました。外部評価の対象となった108事業の見直し効果額は、約2億3千万円（2年間合計）になりました。 24・25年度は、外部評価は休止しますが、従来から行っている事業評価制度等において、更に外部（市民）の視点を意識しながら事務事業の点検・見直しを継続し、また、2ヵ年の外部評価の実施で得られた改革改善の意識をもって更なる行財政改革を推進します。
		評価結果を今後の予算編成に生かします。				→ 評価結果の予算編成への活用	→	→			
		成果・活動量	外部評価の実施回数	目標値	ー	1	1	－	－		
				実績値	0	1	1	－			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

所管部課　：　総務法制課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
4	不適切な会計処理調査の実施 市民から信頼される市役所として不適切な会計処理調査を行います。外部調査委員会の設置、庁内調査及び事業者調査等を実施します。調査結果の報告書の作成及び公表を行い、信頼される市役所を確立します。 【22年度完了】	庁内調査、事業者調査等を行います。【完了】				→ 庁内調査等の実施				A	22年度に、外部の専門的視点を取り入れ、取引業者も対象とした多面的な調査としたことにより、客観的な調査結果が得られました。 今後も、職員の意識改革や内部統制の厳格化等により、市民から信頼される市役所の確立に取り組みます。
		外部調査委員会を設置し開催します。【完了】				→ 外部調査委員会の開催					
		報告書を作成し公表します。【完了】				→ 報告書の公表					
		成果・活動量		目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

５－２　市民の視点に立った透明性の高い行政経営

所管部課　：　財政課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
5	公共施設の効率的・効果的な管理 公共施設が抱えるさまざまな課題を明示したうえで、市民の理解と協力のもと、課題解決を図り、持続可能で最適な公共施設サービスを提供することにより、市民満足度を高めます。 24年度に、公共施設経営システムを構築し、公共施設の現状を財務・品質・供給の各データをもとに分析し、「総量の最適化」に取り組みます。 また、施設の長寿命化や維持管理費の削減、適正な使用料の設定を行うための整備方針を作成し、費用対効果を高める「質の向上」に取り組みます。	施設情報の「共有化・一元化・見える化」を行います。【完了】				→ 公共施設経営ｼｽﾃﾑ構築・運用				A	24年度においては、宮崎市公共施設経営基本方針（24年3月策定）に基づき、本市が保有する公共施設の施設情報の「共有化・一元化・見える化」を図るため、公共施設経営システムを構築しました。 また、全959施設中36施設に対して施設評価を試行し、施設評価のあり方を庁内で検討・検証しました。 この結果を踏まえ、25年度からは、全ての公共施設に係る施設評価を3か年程度で実施していくこととしており、評価の結果、継続して保有することとなった施設については、順次、維持管理適正化計画を作成していくこととしています。
		施設評価による「総量の最適化」を行います。				→ 施設評価実施・施設ｶﾙﾃ作成					
		質の向上（①長寿命化の推進、②維持管理費の削減、③適正な使用料の設定）を図ります。				→ 維持管理適正化計画策定等					
		成果・活動量	公共施設経営システム稼動率（%）	目標値	－	－	－	100			
				実績値	－	－	－	100			
			施設評価実施率（%）	目標値	－	－	－	－	15		
				実績値	－	－	－	－			
			維持管理適正化計画策定率（%）	目標値	－	－	－	－	5		
				実績値	－	－	－	－			
				目標値							
				実績値							

５ 市民のための市役所改革

５－３ 女性の視点を取り込んだ市政運営

所管部課 ： 人事課・地域コミュニティ課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	**男女共同参画の視点を持った女性人材の育成** 審議会委員へ積極的に女性を登用します。女性の視点を生かした市政運営を推進するため、男女共同参画の視点を持つ人材を育成します。	審議会委員への女性登用を推進します。				**女性登用の推進** →				B	女性の審議会委員登用率は昨年度から横ばいとなっています。女性のいない審議会等の割合は昨年度から僅かに改善しましたが、該当の審議会等はほぼ固定されています。 達成が難しい理由として、審議会の専門性が高く該当する女性候補がいないことや委員を依頼している関係団体の長の中に女性が少ないことなどが要因となっています。 今後も庁内各課に審議会委員の女性登用についての理解を求め、登用促進を図っていきます。
		成果・活動量	女性の審議会委員登用率（%）	目標値	ー	31	32	33	35		
				実績値	27	26	27	27			
			女性のいない審議会等の割合（%）	目標値	ー	8	5	3	3		
				実績値	13	10	10	9			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

５ 市民のための市役所改革

５－４ 地方分権の推進

所管部課　：　企画政策課

番号	今後の展開方向	取組内容及び数値目標			(H21)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	評価コメント
1	**地方分権の推進** 国の義務付け・枠付けの見直しや基礎自治体への事務権限移譲などに迅速に対応するため、庁内会議等を適宜開催します。 また、県からの権限移譲（事務処理特例）については、必要に応じて県担当課と協議を行います。	地方分権改革への対応等について、庁内会議等を開催します。				→				A	国の義務付け・枠付けの見直しについては、庁内会議や調査対応等を通して、庁内各課への意識の醸成を図ることができました。 また、県からの権限移譲（事務処理特例）については、市民サービスの向上を図る上で必要な事務を移譲できています。 今後も引き続き、国や県の動向を注視し、庁内の連携を図りながら、地域主権改革への対応と権限移譲の推進に取り組みます。
						庁内会議等の開催（適宜）					
		権限移譲について、適宜、県と協議を行います。				→					
						庁内会議等の開催（適宜）					
		成果・活動量	庁内会議等の開催回数	目標値	ー	6	6	6	6		
				実績値	6	6	7	7			
			県との協議の回数	目標値	ー	2	4	4	4		
				実績値	2	4	5	4			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							